



後撰集三 曉のさるるをさるるをさるるを
 後撰拾遺二 源のさるるをさるるをさるるを
 拾遺集上 口のさるるをさるるをさるるを
 後撰三 ありのさるるをさるるをさるるを
 壬生二上 山人乃のさるるをさるるを
 後撰一 ありのさるるをさるるをさるるを
 同 ありのさるるをさるるをさるるを
 新撰集二 三徳のさるるをさるるをさるるを
 拾玉集七 ありのさるるをさるるをさるるを
 同 ありのさるるをさるるをさるるを
 新撰吉志二 ありのさるるをさるるをさるるを
 壬生二下 ありのさるるをさるるをさるるを
 新撰集一 ありのさるるをさるるをさるるを
 河原集上 ありのさるるをさるるをさるるを
 新撰集二 ありのさるるをさるるをさるるを
 玉葉集二 ありのさるるをさるるをさるるを
 風雅集二 ありのさるるをさるるをさるるを
 拾遺集二 ありのさるるをさるるをさるるを

伴物抄 ありのさるるをさるるをさるるを
 新撰集二 ありのさるるをさるるをさるるを
 古今抄名 ありのさるるをさるるをさるるを
 拾玉集四 ありのさるるをさるるをさるるを
 後撰撰集 ありのさるるをさるるをさるるを
 新撰神紙 ありのさるるをさるるをさるるを
 後撰拾遺下 ありのさるるをさるるをさるるを
 同撰集下 ありのさるるをさるるをさるるを
 拾玉集一 ありのさるるをさるるをさるるを
 後撰拾遺上 ありのさるるをさるるをさるるを
 新撰集傷 ありのさるるをさるるをさるるを
 同撰集 ありのさるるをさるるをさるるを
 玉鬘 ありのさるるをさるるをさるるを
 新撰吉集 ありのさるるをさるるをさるるを
 風雅集上 ありのさるるをさるるをさるるを
 拾玉集五 ありのさるるをさるるをさるるを
 壬生二上 ありのさるるをさるるをさるるを
 金葉集下 ありのさるるをさるるをさるるを

白土右大臣後
後撰集撰

同
從三位範宗

同
源有房

同
後人

同
清原深養

同
永福門院
板上師女

ありのさるるをさるるをさるるを
存原為忠

ありのさるるをさるるをさるるを
とものり

ありのさるるをさるるをさるるを
民部卿資直

ありのさるるをさるるをさるるを
法下良宗

ありのさるるをさるるをさるるを
神祇伯頭仲

ありのさるるをさるるをさるるを
光明寺寺入道
前務政本直
小野小町
大納言隆信

ありのさるるをさるるをさるるを
大僧正道順
大納言隆信
隆宣
靜嚴法師

拾玉集三

奥山乃暮来乃枳我朝よみて あそれいつさそ任をこまら

玉葉志一

思ひついでまき人のいそと あそれいつさそ任をこまら

新勅雜三

秋のまじりしと秋のまじりしと あそれいつさそ任をこまら

後古春下

あそれいつさそ任をこまら

拾遺自集上

あそれいつさそ任をこまら

新子雜中

あそれいつさそ任をこまら

玉葉尺教

あそれいつさそ任をこまら

壬生三系下

あそれいつさそ任をこまら

後古志三

あそれいつさそ任をこまら

新勅雜一

あそれいつさそ任をこまら

新古志三

あそれいつさそ任をこまら

新後古雜下

あそれいつさそ任をこまら

拾玉集三

あそれいつさそ任をこまら

月清集下

あそれいつさそ任をこまら

新後古冬

あそれいつさそ任をこまら

拾遺愚草

あそれいつさそ任をこまら

後古雜上

あそれいつさそ任をこまら

壬生二系上

あそれいつさそ任をこまら

拾玉集一

あそれいつさそ任をこまら

新勅雜二

あそれいつさそ任をこまら

蘭

あそれいつさそ任をこまら

玉葉秋紙

あそれいつさそ任をこまら

壬生三系上

あそれいつさそ任をこまら

葉木

あそれいつさそ任をこまら

後古拾雜

あそれいつさそ任をこまら

拾玉集三

あそれいつさそ任をこまら

同

あそれいつさそ任をこまら

壬生二系上

あそれいつさそ任をこまら

拾玉集二

あそれいつさそ任をこまら

同三

あそれいつさそ任をこまら

壬生二系上

あそれいつさそ任をこまら

風雅志四

あそれいつさそ任をこまら

壬生二系上

あそれいつさそ任をこまら

拾遺自集下

あそれいつさそ任をこまら

拾玉集七

あそれいつさそ任をこまら

同三

あそれいつさそ任をこまら

新拾秋下 清かりの世に別はあつて ありけをきく初巻の志 平政村抄

壬生二品上 事もつれおれ入あひもつる風 ありけをきく山崎の心

新千雅中 ありけの御まのまて年々ぬ ありけをきく和言丹浦人 法不實甚

拾玉集三 三世はてしむいひを起る勢 ありけをきく七代傳社

後子秋下 後吉乃まをま家乃もぬりきり ありけをきく秋の夕月 西園寺前太

新古書下 いづまけまをまをまをまきぬ ありけをきく一の花 皇太后御

拾玉集三 公さうらうたあひりよるきぬ ありけをきく位吉のうら

壬生二品中 朽跡の雲け下あつしものも ありけをきく位吉の秋

後撰卷一 かつ衣まをまをまをまをま ありけをきくむら

風雅卷二 新まのたのめまをまをまをま ありけをきくあつ

山家集上 歎くもまをまをまをまをま ありけをきくまをま

長秋詠藻上 とくもまをまをまをまをま ありけをきくおんあ

後撰秋上 天川をうれてあつしものも ありけをきくあつ

夕雲 ちきりあれまをまをまをま ありけをきくあつ

古今雅下 世中よいつれあつしものも ありけをきくあつ

拾玉集一 年然へて漸く乃あつしものも ありけをきくあつ

同六 宇治川乃跡はあつしものも ありけをきくあつ

同三 石川乃つものむをきくを ありけをきくあつ

新拾雅下 人うらもあつしものも ありけをきくあつ

拾遺卷八 後吉乃まをまをまをま ありけをきくあつ

壬生二品上 事もつれおれ入あひもつる風 ありけをきくあつ

長秋詠藻下 事もつれおれ入あひもつる風 ありけをきくあつ

新古書四 ありけの御まのまて年々ぬ ありけをきくあつ

風雅雅下 ありけの御まのまて年々ぬ ありけをきくあつ

拾玉集七 ありけの御まのまて年々ぬ ありけをきくあつ

後子秋下 ありけの御まのまて年々ぬ ありけをきくあつ

拾玉集八 ありけの御まのまて年々ぬ ありけをきくあつ

新古書六 ありけの御まのまて年々ぬ ありけをきくあつ

同卷三 ありけの御まのまて年々ぬ ありけをきくあつ

新拾雅下 ありけの御まのまて年々ぬ ありけをきくあつ

拾玉集三 ありけの御まのまて年々ぬ ありけをきくあつ

新拾雅下 ありけの御まのまて年々ぬ ありけをきくあつ

月清集上 ありけの御まのまて年々ぬ ありけをきくあつ

小葉卷八 ありけの御まのまて年々ぬ ありけをきくあつ

壬生二品上 ありけの御まのまて年々ぬ ありけをきくあつ

後拾雅下 ありけの御まのまて年々ぬ ありけをきくあつ

道供法師

人々

法性寺僧

祐南親

信実朝臣

皇太后御

三條金道

新千種中 晴るり月もけぬもさるる春の あられとよるはなまきとや 前巻後巻

拾玉集三 まうくはよのさのふ秋落 あられとよるはなまきとや 前巻後巻

同六 和舟の浦の仲のさるる秋落 あられとよるはなまきとや 前巻後巻

使衣四 年つらふさるるさるる春の あられとよるはなまきとや 前巻後巻

玉葉秋下 雲のさるる山の草木ゆきとよ あられとよるはなまきとや 前巻後巻

山家集上 雪のさるる山の家木ゆきとよ あられとよるはなまきとや 前巻後巻

槿 春つらふさるるさるる春の あられとよるはなまきとや 前巻後巻

金葉秋 ありとよるはなまきとよの月つげ あられとよるはなまきとや 前巻後巻

新秋古秋 吹風も方けし秋のさるる春の あられとよるはなまきとや 前巻後巻

風雅志三 吹くさるるさるる春の あられとよるはなまきとや 前巻後巻

拾遺貞上 吹くさるるさるる春の あられとよるはなまきとや 前巻後巻

千載尺教 吹くさるるさるる春の あられとよるはなまきとや 前巻後巻

拾玉集二 八重のさるるさるる春の あられとよるはなまきとや 前巻後巻

秋古春上 吹くさるるさるる春の あられとよるはなまきとや 前巻後巻

拾遺志上 吹くさるるさるる春の あられとよるはなまきとや 前巻後巻

拾玉集三 吹くさるるさるる春の あられとよるはなまきとや 前巻後巻

新古哀傷 吹くさるるさるる春の あられとよるはなまきとや 前巻後巻

山家集下 吹くさるるさるる春の あられとよるはなまきとや 前巻後巻

拾遺貞上 日もちれぬさるる春の あられとよるはなまきとや 前巻後巻

同雅下 吹くさるるさるる春の あられとよるはなまきとや 前巻後巻

手載哀傷 吹くさるるさるる春の あられとよるはなまきとや 前巻後巻

壬生二下 吹くさるるさるる春の あられとよるはなまきとや 前巻後巻

秋古冬 吹くさるるさるる春の あられとよるはなまきとや 前巻後巻

玉葉尺教 吹くさるるさるる春の あられとよるはなまきとや 前巻後巻

新古雅下 吹くさるるさるる春の あられとよるはなまきとや 前巻後巻

新秋雅一 吹くさるるさるる春の あられとよるはなまきとや 前巻後巻

拾遺秋 吹くさるるさるる春の あられとよるはなまきとや 前巻後巻

新秋秋上 吹くさるるさるる春の あられとよるはなまきとや 前巻後巻

新秋古冬 吹くさるるさるる春の あられとよるはなまきとや 前巻後巻

新秋雅三 吹くさるるさるる春の あられとよるはなまきとや 前巻後巻

後拾遺秋 吹くさるるさるる春の あられとよるはなまきとや 前巻後巻

新古雅下 吹くさるるさるる春の あられとよるはなまきとや 前巻後巻

拾玉集四 吹くさるるさるる春の あられとよるはなまきとや 前巻後巻

同五 吹くさるるさるる春の あられとよるはなまきとや 前巻後巻

新葉秋中 吹くさるるさるる春の あられとよるはなまきとや 前巻後巻

吹くさるるさるる春の あられとよるはなまきとや 前巻後巻

新撰下 雲井しきるの候もさるるぬ あらねるる老の候も 大僧正備後
 拾玉集一 何れも思はずなるもさるるぬ あらねるるぬ 中納言
 拾遺草 君も来てはたしきるぬ あらねるるぬ 侍賢内院攝
 風雅雜下 何れも思はずなるもさるるぬ あらねるるぬ 後頼時女
 新撰哀傷 何れも思はずなるもさるるぬ あらねるるぬ 梅安内院
 後拾遺二 何れも思はずなるもさるるぬ あらねるるぬ 和泉式部
 玉葉集 何れも思はずなるもさるるぬ あらねるるぬ
 拾玉集一 何れも思はずなるもさるるぬ あらねるるぬ
 新撰一 何れも思はずなるもさるるぬ あらねるるぬ
 山家集 何れも思はずなるもさるるぬ あらねるるぬ
 風雅三 何れも思はずなるもさるるぬ あらねるるぬ 院一条
 壬生二上 何れも思はずなるもさるるぬ あらねるるぬ
 子歌五 何れも思はずなるもさるるぬ あらねるるぬ 必位法師
 王業集 何れも思はずなるもさるるぬ あらねるるぬ 院中務内侍
 同志四 何れも思はずなるもさるるぬ あらねるるぬ 承徳門院
 同志三 何れも思はずなるもさるるぬ あらねるるぬ 同
 山家集下 何れも思はずなるもさるるぬ あらねるるぬ
 千載志二 何れも思はずなるもさるるぬ あらねるるぬ 友原信光

拾玉集一 何れも思はずなるもさるるぬ あらねるるぬ
 風雅三 何れも思はずなるもさるるぬ あらねるるぬ 権大納言
 同春中 何れも思はずなるもさるるぬ あらねるるぬ 友原信光
 拾玉集三 何れも思はずなるもさるるぬ あらねるるぬ
 拾遺雜春 何れも思はずなるもさるるぬ あらねるるぬ
 新撰上 何れも思はずなるもさるるぬ あらねるるぬ
 拾遺草 何れも思はずなるもさるるぬ あらねるるぬ
 子歌五 何れも思はずなるもさるるぬ あらねるるぬ
 後古雜上 何れも思はずなるもさるるぬ あらねるるぬ
 子歌三 何れも思はずなるもさるるぬ あらねるるぬ
 後子雜下 何れも思はずなるもさるるぬ あらねるるぬ
 月清集下 何れも思はずなるもさるるぬ あらねるるぬ 定家
 新撰上 何れも思はずなるもさるるぬ あらねるるぬ
 後古雜上 何れも思はずなるもさるるぬ あらねるるぬ
 後拾遺 何れも思はずなるもさるるぬ あらねるるぬ
 後古 何れも思はずなるもさるるぬ あらねるるぬ 権守國基

拾遺集七 君とてなりけれもちの故是也
 我古多又 けりもれちるけりけりけりけり
 新子雜下 我のちのけりけりけりけり
 山家集下 我のちのけりけりけりけり
 新古羅様 月のみも秋もさあはる月夜
 風雅秋中 さあはるさあはるさあはる
 新子不教 人れやのちのけりけりけり
 拾玉集又 ねとろてきあめいけりけり
 風雅尺教 心ともけりけりけりけり
 新子雜上 心あはれけりけりけりけり
 拾玉集三 心あはれけりけりけりけり
 同 心あはれけりけりけりけり
 拾遺集四 心あはれけりけりけりけり
 新古羅上 心あはれけりけりけりけり
 新子哀傷 心あはれけりけりけりけり
 後拾遺集 心あはれけりけりけりけり
 新拾遺集 心あはれけりけりけりけり
 拾玉集三 心あはれけりけりけりけり
 新古羅下 心あはれけりけりけりけり

新葉集長陽 うれあはれけりけりけり
 新子哀傷 今日かつ神のちのちの
 後拾遺集 世とてけりけりけりけり
 新拾遺集 心あはれけりけりけりけり
 拾玉集三 心あはれけりけりけりけり
 新古羅上 心あはれけりけりけりけり
 新拾遺集 心あはれけりけりけりけり
 拾遺集上 心あはれけりけりけりけり
 後拾遺集 心あはれけりけりけりけり
 山家集 心あはれけりけりけりけり
 金葉雜上 心あはれけりけりけりけり
 後拾遺集三 心あはれけりけりけりけり
 山家集下 心あはれけりけりけりけり
 同上 心あはれけりけりけりけり
 新古羅下 心あはれけりけりけりけり

拾玉集一 笑ぬれは七日の酒をそそぎぬ
あられぬれぬる酒のうか
壬生二上 吹たぬれは七日の酒をそそぎぬ
あられぬれぬる酒のうか
玉葉集四 流るる水は玉葉集四
あられぬれぬる酒のうか
壬生二上 流るる水は玉葉集四
あられぬれぬる酒のうか
同中 奥山は巖乃ちりては
あられぬれぬる酒のうか
古今雅上 ともともしつゆゆりては
あられぬれぬる酒のうか
新後古雅 今物まてはゆりては
あられぬれぬる酒のうか
拾遺集三 たまの酒を吹たぬれは
あられぬれぬる酒のうか
新子集下 何人も指をみそやぬれは
あられぬれぬる酒のうか
拾遺集上 酒のうけ入はぬれは
あられぬれぬる酒のうか
山家集上 鶯のうけ入はぬれは
あられぬれぬる酒のうか
月清集上 ちりてはぬれは
あられぬれぬる酒のうか
拾玉集六 ちりてはぬれは
あられぬれぬる酒のうか
玉葉集四 ちりてはぬれは
あられぬれぬる酒のうか
新勅志六 ちりてはぬれは
あられぬれぬる酒のうか
拾遺集五 月をかく雲丹ちりては
あられぬれぬる酒のうか
康賢王母

新後拾遺 祇もみそそぬれは
あられぬれぬる酒のうか
千載冬 嵐吹はぬれは
あられぬれぬる酒のうか
同秋下 さぬれはぬれは
あられぬれぬる酒のうか
新勅雅三 祇もみそそぬれは
あられぬれぬる酒のうか
長秋歌集 ちりてはぬれは
あられぬれぬる酒のうか
拾玉集一 衣のうけ入はぬれは
あられぬれぬる酒のうか
山家集下 山をみそそぬれは
あられぬれぬる酒のうか
後拾雅上 世にみそそぬれは
あられぬれぬる酒のうか
拾遺集上 ちりてはぬれは
あられぬれぬる酒のうか
新勅志三 ちりてはぬれは
あられぬれぬる酒のうか
拾玉集二 ちりてはぬれは
あられぬれぬる酒のうか
壬生二上 ちりてはぬれは
あられぬれぬる酒のうか
玉葉集一 ちりてはぬれは
あられぬれぬる酒のうか
山家集上 ちりてはぬれは
あられぬれぬる酒のうか
新勅志三 ちりてはぬれは
あられぬれぬる酒のうか
後古雅下 ちりてはぬれは
あられぬれぬる酒のうか
拾遺集上 ちりてはぬれは
あられぬれぬる酒のうか
拾玉集一 ちりてはぬれは
あられぬれぬる酒のうか

中務卿宗光
道因法師
九在中良經
源有房卿下
白美右大臣
後成
八條院宮余
從三位為子
二条院皇太后宮
常陸
嘉陽門院前

山家集下 雪志のくまのつまはさうきで あらうそらん人ごとくめん
 新拾雅上 いのちをたつまはしていふ人の あらうもみぬまのまきま 大原嗣定
 新古撰 重なりしういふまきうの乃重 あらうもみぬまのまきま 大原嗣定
 新集下 切しうまはさういふまきも あらうもみぬまのまきま 大原嗣定
 新拾雅中 うねあをいぬわきも世へあう あらうもみぬまのまきま 大原嗣定
 新拾雅四 法乃くあとおひあはれまきま あらうもみぬまのまきま 大原嗣定
 新集百三 ころりしと見まうまはれまきま あらうもみぬまのまきま 大原嗣定
 玉葉集下 酒ころりしと見まうまはれまきま あらうもみぬまのまきま 大原嗣定
 同 きのりしと見まうまはれまきま あらうもみぬまのまきま 大原嗣定
 新集百三 法乃くあとおひあはれまきま あらうもみぬまのまきま 大原嗣定
 長秋詠藻 ちけりあやまるところはあまのまきま あらうもみぬまのまきま 大原嗣定
 新拾雅上 人志れぬまのまきまあまのまきま あらうもみぬまのまきま 大原嗣定
 玉葉集下 ころりしと見まうまはれまきま あらうもみぬまのまきま 大原嗣定
 新拾雅下 思つたまたまのまきまあまのまきま あらうもみぬまのまきま 大原嗣定
 新千冬 顔あまうまきまあまのまきま あらうもみぬまのまきま 大原嗣定
 新集百三 ころりしと見まうまはれまきま あらうもみぬまのまきま 大原嗣定
 新集百三 ころりしと見まうまはれまきま あらうもみぬまのまきま 大原嗣定

小裁言傷 飾うんとあういふまきま あらうもみぬまのまきま 大原嗣定
 玉葉集一 うねあをいぬわきも世へあう あらうもみぬまのまきま 大原嗣定
 風雅雜下 かなんをいぬわきも世へあう あらうもみぬまのまきま 大原嗣定
 新集冬 ころりしと見まうまはれまきま あらうもみぬまのまきま 大原嗣定
 拾遺草 秋乃夜ハ雲はあまのまきま あらうもみぬまのまきま 大原嗣定
 拾玉集又 わりしと見まうまはれまきま あらうもみぬまのまきま 大原嗣定
 新拾雅中 ころりしと見まうまはれまきま あらうもみぬまのまきま 大原嗣定
 新拾雅秋 うねあをいぬわきも世へあう あらうもみぬまのまきま 大原嗣定
 新集百三 ころりしと見まうまはれまきま あらうもみぬまのまきま 大原嗣定
 壬生二下 ころりしと見まうまはれまきま あらうもみぬまのまきま 大原嗣定
 新集冬 ころりしと見まうまはれまきま あらうもみぬまのまきま 大原嗣定
 同 ころりしと見まうまはれまきま あらうもみぬまのまきま 大原嗣定
 新集百三 ころりしと見まうまはれまきま あらうもみぬまのまきま 大原嗣定
 新古冬 ころりしと見まうまはれまきま あらうもみぬまのまきま 大原嗣定

右原秋盛
 大原白太夫下
 西行法師
 入道家右大臣
 大内相細綱下
 中尾秋春
 信長長尊
 隆經法師
 昭訓口院春目
 権中卿云要
 源朝臣朝平
 持大納言忠光
 康資上母

風雅冬 万葉集の巻一に時刈加ふ ありては乃ぬ山嶺なり 費ら

後古冬 万葉集の巻一に雪のつらき ありては乃ぬ山嶺なり 費ら

子載雅上 あつては乃ぬ山嶺なり 費ら

新後撰雅上 あつては乃ぬ山嶺なり 費ら

同雅上 あつては乃ぬ山嶺なり 費ら

後撰撰秋 あつては乃ぬ山嶺なり 費ら

月清集上 雅とては乃ぬ山嶺なり 費ら

後撰撰冬 雅とては乃ぬ山嶺なり 費ら

拾遺草上 雅とては乃ぬ山嶺なり 費ら

同雅中 雅とては乃ぬ山嶺なり 費ら

同書下 雅とては乃ぬ山嶺なり 費ら

同冬 雅とては乃ぬ山嶺なり 費ら

新後撰古書 雅とては乃ぬ山嶺なり 費ら

新拾遺古書 雅とては乃ぬ山嶺なり 費ら

後撰撰下 雅とては乃ぬ山嶺なり 費ら

後撰撰素 雅とては乃ぬ山嶺なり 費ら

後撰撰上 雅とては乃ぬ山嶺なり 費ら

後撰撰中 雅とては乃ぬ山嶺なり 費ら

拾遺集四 雅とては乃ぬ山嶺なり 費ら

山家集上 雅とては乃ぬ山嶺なり 費ら

風雅冬 雅とては乃ぬ山嶺なり 費ら

金葉集上 雅とては乃ぬ山嶺なり 費ら

後撰撰素 伏見院は製

後撰撰上 伏見院は製

後撰撰中 伏見院は製

後撰撰下 伏見院は製

後撰撰素 伏見院は製

後撰撰上 伏見院は製

後撰撰中 伏見院は製

後撰撰下 伏見院は製

後撰撰素 伏見院は製

後撰撰上 伏見院は製

後撰撰中 伏見院は製

後撰撰下 伏見院は製

後撰撰素 伏見院は製

後撰撰上 伏見院は製

後撰撰中 伏見院は製

後撰撰下 伏見院は製

後撰撰素 伏見院は製

後撰撰上 伏見院は製

後撰撰中 伏見院は製

後撰撰下 伏見院は製

後撰撰素 伏見院は製

後撰撰上 伏見院は製

後撰撰中 伏見院は製

玉葉雜四 ねの世のゆくをぬをぬは ありまてのころるさひ 新古今和行

新拾雅上 糸方の浦よこをて候るま ありまてのりふれりま 三三位連女

新古今上 うすくまを好まき候はるまに ありまてみゆる雪れけ 文四郎

新拾雅四 月うつるまをさる人のをを ありまてまじくたふれぬ 太上天

風雅五 月うつるまをさる人のをを ありまてまじくたふれぬ 及西園公

拾遺貞外 ありまてのりふれりま ありまてまじくたふれぬ 及西園公

拾玉集四 ありまてのりふれりま ありまてまじくたふれぬ 及西園公

新古今上 ありまてのりふれりま ありまてまじくたふれぬ 及西園公

同哀傷 ありまてのりふれりま ありまてまじくたふれぬ 及西園公

同喜上 ありまてのりふれりま ありまてまじくたふれぬ 及西園公

新古今冬 ありまてのりふれりま ありまてまじくたふれぬ 及西園公

山家集 ありまてのりふれりま ありまてまじくたふれぬ 及西園公

拾玉集下 ありまてのりふれりま ありまてまじくたふれぬ 及西園公

新拾雅中 ありまてのりふれりま ありまてまじくたふれぬ 及西園公

新古今上 ありまてのりふれりま ありまてまじくたふれぬ 及西園公

新葉集傷 ありまてのりふれりま ありまてまじくたふれぬ 及西園公

月清集上 ありまてのりふれりま ありまてまじくたふれぬ 及西園公

新古今冬 ありまてのりふれりま ありまてまじくたふれぬ 及西園公

新拾雅下 ありまてのりふれりま ありまてまじくたふれぬ 及西園公

新古今冬 ありまてのりふれりま ありまてまじくたふれぬ 及西園公

月清集下 ありまてのりふれりま ありまてまじくたふれぬ 及西園公

玉葉雜三 ありまてのりふれりま ありまてまじくたふれぬ 及西園公

新古今上 ありまてのりふれりま ありまてまじくたふれぬ 及西園公

拾遺貞外上 ありまてのりふれりま ありまてまじくたふれぬ 及西園公

新古今上 ありまてのりふれりま ありまてまじくたふれぬ 及西園公

玉葉雜下 ありまてのりふれりま ありまてまじくたふれぬ 及西園公

新古今上 ありまてのりふれりま ありまてまじくたふれぬ 及西園公

新古今上 ありまてのりふれりま ありまてまじくたふれぬ 及西園公

新古今上 ありまてのりふれりま ありまてまじくたふれぬ 及西園公

新古今上 ありまてのりふれりま ありまてまじくたふれぬ 及西園公

玉葉志三 ころる師き人の心とあひあつて ありとそぬ世を驚くもなき 指大船よか定
 得撰志二 いさり史はまういふふかしく ありかひのちよけぬ十 在来忠國
 新古志二 なまともくはすまにわき余計 ありつひもわきひをそそ 西行法師
 新古雅下 思ふはよわくぬれ余計 ありてかたうぬやうん 從三位在子
 金葉雅下 かるきれきの夕暮のまゝるん ありてそひとよら舞う 橋元任
 後拾遺雅 ゆるとくをあらすもあはほほ ありとへういさつねか 馬のあひ
 後拾遺雅上 わく山の岩さうくれの煙さ ありとさういさむひのほ 法軍寂信
 新古尺教 尋ぬまへうこもみまもあは ありとらういさむひのほ 赤大僧言賢
 新拾遺志四 あつちんあひもあもあま ありとらういさむひのほ 或名恒明賢
 後拾遺雅 ありとらういさむひのほ ありとらういさむひのほ 法守圓理
 風雅雅中 衣のそ月をそむくさうい史の ありとらういさむひのほ 赤大僧言賢
 後拾遺雅上 ね月をそむくさうい史の ありとらういさむひのほ 從三位行徳
 古今地名 郭ふねの雪もまじりまじり ありとらういさむひのほ 平あつゆき
 後拾遺雅中 郭ふねの雪もまじりまじり ありとらういさむひのほ 足仁法親正
 後拾遺雅下 郭ふねの雪もまじりまじり ありとらういさむひのほ 順徳院法親
 後拾遺志一 みささあつちんあひもあま ありとらういさむひのほ 坂上是則
 新古志一 それ系やゆきまよあつちんあひ ありとらういさむひのほ 典侍親子朝
 新古志四 いくせん今もあつちんあひ ありとらういさむひのほ 大僧正行徳
 新古雅下 思ひ出さくりにあつちんあひ ありとらういさむひのほ

風雅雅中 牙さくは海山のあはほほ ありとれつをそ谷乃下 山階道常亮
 後拾遺雅 燈とも雪ともみぬほほ ありとあひのんをそあき 按家使親光
 新古雅上 秋さくは風乃さういさむひ ありとらういさむひのほ 入元一親光
 新古志上 ちりあはれを白ひくまほの花 ありとらういさむひのほ 有系元亮
 新拾遺雅 夕暮のまゝるんあつちんあひ ありとらういさむひのほ 為道親下
 新古志上 をのつ風の後さういさむひ ありとらういさむひのほ 赤大僧言賢
 古今書上 ねつれ社さういさむひのほ ありとらういさむひのほ 赤大僧言賢
 後拾遺雅 月をねらうさういさむひのほ ありとらういさむひのほ 赤大僧言賢
 山家集下 中くは谷の細さういさむひのほ ありとらういさむひのほ 赤大僧言賢
 新拾遺志 ありとらういさむひのほ ありとらういさむひのほ 赤大僧言賢
 後拾遺志 ありとらういさむひのほ ありとらういさむひのほ 赤大僧言賢
 後撰雅三 ありとらういさむひのほ ありとらういさむひのほ 赤大僧言賢
 新古尺教 ありとらういさむひのほ ありとらういさむひのほ 赤大僧言賢
 金葉雅下 ありとらういさむひのほ ありとらういさむひのほ 赤大僧言賢
 新葉志 ありとらういさむひのほ ありとらういさむひのほ 赤大僧言賢
 拾遺雅志 ありとらういさむひのほ ありとらういさむひのほ 赤大僧言賢
 新古志 ありとらういさむひのほ ありとらういさむひのほ 赤大僧言賢

新子尺教 ありともふきまはるる 西院門院
 新拾遺上 ありともふきまはるる 婿子内親王
 新拾遺中 ありともふきまはるる 前大御所
 新拾遺下 ありともふきまはるる 左大御所
 同雜上 ありともふきまはるる 右大御所
 新古冬 ありともふきまはるる 大僧正
 拾玉集六 ありともふきまはるる 大僧正
 同一 ありともふきまはるる 大僧正
 新葉志二 ありともふきまはるる 大僧正
 新拾遺上 ありともふきまはるる 大僧正
 古今書下 ありともふきまはるる 大僧正
 玉葉雜又 ありともふきまはるる 大僧正
 新拾遺中 ありともふきまはるる 大僧正
 玉葉雜二 ありともふきまはるる 大僧正
 新古羅旅 ありともふきまはるる 大僧正
 新古羅旅 ありともふきまはるる 大僧正
 新勅志一 ありともふきまはるる 大僧正
 拾遺雜 ありともふきまはるる 大僧正

子成雜中 ありともふきまはるる 大僧正
 金葉初 ありともふきまはるる 大僧正
 拾遺雜賀 ありともふきまはるる 大僧正
 新古冬三 ありともふきまはるる 大僧正
 後拾遺志二 ありともふきまはるる 大僧正
 新葉書下 ありともふきまはるる 大僧正
 後古神祇 ありともふきまはるる 大僧正
 後拾遺雜 ありともふきまはるる 大僧正
 拾遺志皇 ありともふきまはるる 大僧正
 新拾賀 ありともふきまはるる 大僧正
 新葉雜下 ありともふきまはるる 大僧正
 玉葉志又 ありともふきまはるる 大僧正
 古今書下 ありともふきまはるる 大僧正
 新千雜中 ありともふきまはるる 大僧正
 後拾雜下 ありともふきまはるる 大僧正
 新拾遺傷 ありともふきまはるる 大僧正
 新拾遺下 ありともふきまはるる 大僧正
 後拾遺雜 ありともふきまはるる 大僧正

類聚

...

新古今上

秋もつらつら山乃さびしき ありあけの月を眺むる 前中興 匡房

新古今三

今もまたも秋のさびしき ありあけの月を眺むる 大江頼重

古今志四

今もまたも秋のさびしき ありあけの月を眺むる 子世いかりし

新古今撰冬

色さむと秋のさびしき ありあけの月を眺むる 指大徳言

新古今撰冬

わびあふたう秋のさびしき ありあけの月を眺むる 指大徳言

新古今撰冬

嵐山ゆきと秋のさびしき ありあけの月を眺むる 指大徳言

新古今撰上

ほろろと秋のさびしき ありあけの月を眺むる 和泉成

新古今撰下

ふいふと秋のさびしき ありあけの月を眺むる 和泉成

山家集上

ふいふと秋のさびしき ありあけの月を眺むる 和泉成

同上

ふいふと秋のさびしき ありあけの月を眺むる 和泉成

同

ふいふと秋のさびしき ありあけの月を眺むる 和泉成

拾遺草上

あつと秋のさびしき ありあけの月を眺むる 順徳院

新古今撰冬

あつと秋のさびしき ありあけの月を眺むる 順徳院

山家集下

あつと秋のさびしき ありあけの月を眺むる 順徳院

同

あつと秋のさびしき ありあけの月を眺むる 順徳院

新古今撰冬

あつと秋のさびしき ありあけの月を眺むる 順徳院

拾遺草上

あつと秋のさびしき ありあけの月を眺むる 順徳院

新古今撰上

あつと秋のさびしき ありあけの月を眺むる 順徳院

新古今撰上

あつと秋のさびしき ありあけの月を眺むる 順徳院

新古今撰上

あつと秋のさびしき ありあけの月を眺むる 順徳院

新古今撰上

あつと秋のさびしき ありあけの月を眺むる 順徳院

新古今撰上

あつと秋のさびしき ありあけの月を眺むる 順徳院

新古今撰上

あつと秋のさびしき ありあけの月を眺むる 順徳院

新古今撰上

あつと秋のさびしき ありあけの月を眺むる 順徳院

新古今撰上

あつと秋のさびしき ありあけの月を眺むる 順徳院

新古今撰上

あつと秋のさびしき ありあけの月を眺むる 順徳院

新古今撰上

あつと秋のさびしき ありあけの月を眺むる 順徳院

新古今撰上

あつと秋のさびしき ありあけの月を眺むる 順徳院

新古今撰上

あつと秋のさびしき ありあけの月を眺むる 順徳院

新古今撰上

あつと秋のさびしき ありあけの月を眺むる 順徳院

新古今撰上

あつと秋のさびしき ありあけの月を眺むる 順徳院

新古今撰上

あつと秋のさびしき ありあけの月を眺むる 順徳院

新古今撰上

あつと秋のさびしき ありあけの月を眺むる 順徳院

新古今撰上

あつと秋のさびしき ありあけの月を眺むる 順徳院

新古今撰上

あつと秋のさびしき ありあけの月を眺むる 順徳院

新古今撰上

あつと秋のさびしき ありあけの月を眺むる 順徳院

新古今撰上

あつと秋のさびしき ありあけの月を眺むる 順徳院

後拾遺三 勢とく後芽う霜の清もせ ありしうらな久もまよや 大綱を安教
 後拾遺四 ちうれてと登りし末のゆるれ ありしうらな中河乃水 観意法師
 風雅志四 一まらうり起りも狂うりたり ありしうらな人のまきけ 永福院を譽
 後拾遺五 思ひあまり種もは波もまより ありしうらな志の松山 太上天皇
 新勅賀 ころ目さぬ方のまきけをみて ありしうらな宿の池水 三位知家
 侍勢物語 いて言ひたれぬあのかうらん ありしうらなうらなまきけ 業平のト
 後拾遺三 いてひても雅うけのたかうらん ありしうらなうらなまきけ 在系業平のト
 玉葉賀 笑はれ乃雅うけのたかうらん ありしうらなうらなまきけ 在系業平のト
 侍勢物語 けりたのりよかかうらんをみよ ありしうらなうらなまきけ 後人不知
 玉葉志四 志まらうん今を思ふ時よ ありしうらなうらなまきけ 永福門院
 風雅志四 志ゆりこももまきけをみて ありしうらなうらなまきけ 在系業平のト
 新勅賀三 つまやちやれとすれうらまき ありしうらなうらなまきけ 後拾遺三
 新勅賀一 思ひあまり種もは波もまより ありしうらなうらなまきけ 小野小町
 新古秋上 ふまじも風いしけ秋まき ありしうらなうらなまきけ 前拾遺三
 後拾遺三 いのまてう世のんをまきけ ありしうらなうらなまきけ 式子内親王
 新古雅中 をあえれらう昔まきけ ありしうらなうらなまきけ 式子内親王
 後拾遺三 掃花さぬねとんをうらまき ありしうらなうらなまきけ 式子内親王
 新葉春上 さそもれ世昔まきけ ありしうらなうらなまきけ 式子内親王

拾遺三 勢とく後芽う霜の清もせ ありしうらな久もまよや 大綱を安教
 後拾遺四 ちうれてと登りし末のゆるれ ありしうらな中河乃水 観意法師
 風雅志四 一まらうり起りも狂うりたり ありしうらな人のまきけ 永福院を譽
 後拾遺五 思ひあまり種もは波もまより ありしうらな志の松山 太上天皇
 新勅賀 ころ目さぬ方のまきけをみて ありしうらな宿の池水 三位知家
 侍勢物語 いて言ひたれぬあのかうらん ありしうらなうらなまきけ 業平のト
 後拾遺三 いてひても雅うけのたかうらん ありしうらなうらなまきけ 在系業平のト
 玉葉賀 笑はれ乃雅うけのたかうらん ありしうらなうらなまきけ 在系業平のト
 侍勢物語 けりたのりよかかうらんをみよ ありしうらなうらなまきけ 後人不知
 玉葉志四 志まらうん今を思ふ時よ ありしうらなうらなまきけ 永福門院
 風雅志四 志ゆりこももまきけをみて ありしうらなうらなまきけ 在系業平のト
 新勅賀三 つまやちやれとすれうらまき ありしうらなうらなまきけ 後拾遺三
 新勅賀一 思ひあまり種もは波もまより ありしうらなうらなまきけ 小野小町
 新古秋上 ふまじも風いしけ秋まき ありしうらなうらなまきけ 前拾遺三
 後拾遺三 いのまてう世のんをまきけ ありしうらなうらなまきけ 式子内親王
 新古雅中 をあえれらう昔まきけ ありしうらなうらなまきけ 式子内親王
 後拾遺三 掃花さぬねとんをうらまき ありしうらなうらなまきけ 式子内親王
 新葉春上 さそもれ世昔まきけ ありしうらなうらなまきけ 式子内親王

拾遺三

類白

七

後撰雜上 後みより山いさるより山いさるれ ありあきうけつとて 好忠

拾玉集四 麻のきりしむらじのひびきを ありうらむ秋れたをくれ 建礼門院右京大夫

凡雅雜下 におもひのこころをいふ ありあきうけつとて 右京大夫

玉葉巻一 うらみいふよもいふよもいふ ありあきうけつとて 僧心定伊

凡雅雜上 せむしき各のききききききき ありあきうけつとて 中納言

凡雅雜下 今さういふとていふとていふ ありあきうけつとて 中納言

拾玉集七 ありあきうけつとていふとていふ ありあきうけつとて 中納言

玉葉巻四 うらみいふよもいふよもいふ ありあきうけつとて 中納言

凡雅雜上 せむしき各のききききききき ありあきうけつとて 中納言

凡雅雜下 今さういふとていふとていふ ありあきうけつとて 中納言

玉葉巻三 さういふよもいふよもいふ ありあきうけつとて 中納言

凡雅雜上 せむしき各のききききききき ありあきうけつとて 中納言

凡雅雜下 今さういふとていふとていふ ありあきうけつとて 中納言

拾玉集三 さういふよもいふよもいふ ありあきうけつとて 中納言

凡雅雜上 せむしき各のききききききき ありあきうけつとて 中納言

凡雅雜下 今さういふとていふとていふ ありあきうけつとて 中納言

玉葉巻二 さういふよもいふよもいふ ありあきうけつとて 中納言

凡雅雜上 せむしき各のききききききき ありあきうけつとて 中納言

凡雅雜下 今さういふとていふとていふ ありあきうけつとて 中納言

玉葉巻一 さういふよもいふよもいふ ありあきうけつとて 中納言

凡雅雜上 せむしき各のききききききき ありあきうけつとて 中納言

凡雅雜下 今さういふとていふとていふ ありあきうけつとて 中納言

玉葉巻四 さういふよもいふよもいふ ありあきうけつとて 中納言

凡雅雜上 せむしき各のききききききき ありあきうけつとて 中納言

凡雅雜下 今さういふとていふとていふ ありあきうけつとて 中納言

拾玉集三 さういふよもいふよもいふ ありあきうけつとて 中納言

凡雅雜上 せむしき各のききききききき ありあきうけつとて 中納言

凡雅雜下 今さういふとていふとていふ ありあきうけつとて 中納言

玉葉巻三 さういふよもいふよもいふ ありあきうけつとて 中納言

凡雅雜上 せむしき各のききききききき ありあきうけつとて 中納言

凡雅雜下 今さういふとていふとていふ ありあきうけつとて 中納言

拾玉集四 さういふよもいふよもいふ ありあきうけつとて 中納言

凡雅雜上 せむしき各のききききききき ありあきうけつとて 中納言

凡雅雜下 今さういふとていふとていふ ありあきうけつとて 中納言

玉葉巻四 さういふよもいふよもいふ ありあきうけつとて 中納言

凡雅雜上 せむしき各のききききききき ありあきうけつとて 中納言

凡雅雜下 今さういふとていふとていふ ありあきうけつとて 中納言

拾玉集四 さういふよもいふよもいふ ありあきうけつとて 中納言

凡雅雜上 せむしき各のききききききき ありあきうけつとて 中納言

凡雅雜下 今さういふとていふとていふ ありあきうけつとて 中納言

玉葉巻四 さういふよもいふよもいふ ありあきうけつとて 中納言

凡雅雜上 せむしき各のききききききき ありあきうけつとて 中納言

凡雅雜下 今さういふとていふとていふ ありあきうけつとて 中納言

拾玉集

拾玉集

拾玉集

拾玉集

右美濃云行
源信定御下
惟宗行政

大納言
右美濃云行
源信定御下
惟宗行政

玉葉雜四 乃身とと君いこやの年ぬき ありもりのみ地をまほの 躬恒
 新子志三 あり雲の空のありけり色 ありのこまきうさふま 亭子院
 新子志四 命とありあかてし申され ありはくふ人たゆり 津守國助
 新後雜中 うしとのこいこいそと名あれ ありのこまきうさふま 津守國助
 新古志又 ありこの葉よと名なほ清し ありのこまきうさふま 津守國助
 玉葉又教 ありまのこまきうさふま ありのこまきうさふま 津守國助
 壬生二品上 ありのこまきうさふま ありのこまきうさふま 津守國助
 山家集上 ありのこまきうさふま ありのこまきうさふま 津守國助
 拾遺五集 ありのこまきうさふま ありのこまきうさふま 津守國助
 新子秋下 ありのこまきうさふま ありのこまきうさふま 津守國助
 後拾遺集 ありのこまきうさふま ありのこまきうさふま 津守國助
 新後古志二 ありのこまきうさふま ありのこまきうさふま 津守國助
 新古賀 ありのこまきうさふま ありのこまきうさふま 津守國助
 拾玉集一 ありのこまきうさふま ありのこまきうさふま 津守國助
 若菜上 ありのこまきうさふま ありのこまきうさふま 津守國助
 玉葉集下 ありのこまきうさふま ありのこまきうさふま 津守國助
 金葉集 ありのこまきうさふま ありのこまきうさふま 津守國助
 拾遺雜志 ありのこまきうさふま ありのこまきうさふま 津守國助

壬生二品中 其乃他孤師とてをぬき ありのこまきうさふま 津守國助
 同上 ありのこまきうさふま ありのこまきうさふま 津守國助
 新葉冬 ありのこまきうさふま ありのこまきうさふま 津守國助
 新古冬 ありのこまきうさふま ありのこまきうさふま 津守國助
 壬生二品中 ありのこまきうさふま ありのこまきうさふま 津守國助
 拾玉集四 ありのこまきうさふま ありのこまきうさふま 津守國助
 後古春上 ありのこまきうさふま ありのこまきうさふま 津守國助
 壬生二品上 ありのこまきうさふま ありのこまきうさふま 津守國助
 子載書上 ありのこまきうさふま ありのこまきうさふま 津守國助
 凡雅集下 ありのこまきうさふま ありのこまきうさふま 津守國助
 後千林詠 ありのこまきうさふま ありのこまきうさふま 津守國助
 新後古秋 ありのこまきうさふま ありのこまきうさふま 津守國助
 新葉雜中 ありのこまきうさふま ありのこまきうさふま 津守國助
 古今書上 ありのこまきうさふま ありのこまきうさふま 津守國助
 壬生二品上 ありのこまきうさふま ありのこまきうさふま 津守國助
 後拾遺秋下 ありのこまきうさふま ありのこまきうさふま 津守國助
 凡雅集下 ありのこまきうさふま ありのこまきうさふま 津守國助
 玉葉集下 ありのこまきうさふま ありのこまきうさふま 津守國助

権中御経書
 大納言成通
 順徳院住持
 源昭法師
 後三位頼政
 大納言成通
 前大納言成通
 西光内大臣
 兼性法師
 光明寺入道
 大納言成通
 大官大納言

淡千秋下 終月... 拾遺冬 千載冬 淡拾雅下 玉葉錄 同秋上 新拾秋下 子裁秋上 月清集下 淡千夏 新雅古夏 淡拾雅中 玉葉秋上 淡千秋下 新古雅中 同雅中 新千秋上

凡雅夏 同雅中 玉葉雅一 拾遺夏草 淡子雅錄 新千恋三 新拾雅上 新雅古雅 凡雅冬 拾玉集六 月清集上 新葉衣 拾遺夏草 新雅古雅 同秋下 拾遺冬二 淡古雅中 新雅冬三

類合抄

抄

類合抄

抄

新撰拾雅上 中なる野暮は種のかのそ ありきこのをとなりけり 大下
 後拾雅神祇 秋深き月のそと ありきこのをとなりけり 大下
 新撰拾雅 牙はさひのけき種まきまきいぬ ありきこのをとなりけり 大下
 風雅雅中 種のかさともれ種まきまきいぬ ありきこのをとなりけり 大下
 玉葉雅二 じつとよき種まきまきいぬ ありきこのをとなりけり 大下
 後古志三 きぬの別もさるるまきと ありきこのをとなりけり 大下
 拾遺貞平 今夜より月をいぬ ありきこのをとなりけり 大下
 後拾志三 始りし月の別もさるるまきと ありきこのをとなりけり 大下
 拾玉集四 これをさるる種まきまきいぬ ありきこのをとなりけり 大下
 金葉志上 よひまにあらまきと ありきこのをとなりけり 大下
 後古志三 久保れあまのそと ありきこのをとなりけり 大下
 新撰古雅 山の井乃水はさるるまきと ありきこのをとなりけり 大下
 新拾志 時をあらまきと ありきこのをとなりけり 大下
 月清集下 まよぼし山斗れまきと ありきこのをとなりけり 大下
 新古志 けりあまのそと ありきこのをとなりけり 大下
 後古志 けりあまのそと ありきこのをとなりけり 大下
 拾遺愚草 夏山のけりまきと ありきこのをとなりけり 大下
 新撰雅上 けりあまのそと ありきこのをとなりけり 大下

新撰下 けりあまのそと ありきこのをとなりけり 大下
 子載雅上 けりあまのそと ありきこのをとなりけり 大下
 新撰拾雅 けりあまのそと ありきこのをとなりけり 大下
 後千世下 けりあまのそと ありきこのをとなりけり 大下
 後拾遺堂 けりあまのそと ありきこのをとなりけり 大下
 新古志 けりあまのそと ありきこのをとなりけり 大下
 新撰秋上 けりあまのそと ありきこのをとなりけり 大下
 古今雅初 けりあまのそと ありきこのをとなりけり 大下
 拾遺雅志 けりあまのそと ありきこのをとなりけり 大下
 後古志三 けりあまのそと ありきこのをとなりけり 大下
 新撰古志 けりあまのそと ありきこのをとなりけり 大下
 拾玉集四 けりあまのそと ありきこのをとなりけり 大下
 玉葉集上 けりあまのそと ありきこのをとなりけり 大下
 同下 けりあまのそと ありきこのをとなりけり 大下
 後古志三 けりあまのそと ありきこのをとなりけり 大下
 後撰撰秋上 けりあまのそと ありきこのをとなりけり 大下
 新古撰様 けりあまのそと ありきこのをとなりけり 大下
 後拾玉下 けりあまのそと ありきこのをとなりけり 大下

金泉入道
 國住法師
 後金右大臣
 西園入道
 大貳實政
 前大僧正
 権大納言
 同
 小野小所
 大権僧正
 天曆
 中御
 人丸
 後撰撰秋上

洞花秋 閑るもの人下向るみちのれ ありとけりかきとる美しき 城河右大臣
 新後拾冬 風よゆたむむれけり秋重き ありとけりかきとる美しき 大納言とる世
 月清集上 冬の朔佳士の姫とる三層の ありとけりかきとる美しき 院法師
 玉葉友 かくしのとるまゝとる水鏡の ありとけりかきとる美しき 院法師
 山家集下 わりの山上とるうねるかき ありとけりかきとる美しき 院法師
 風雅雜上 花よあそつ井は清き山さう ありとけりかきとる美しき 院法師
 新後拾秋 ありとけりかきとる美しき ありとけりかきとる美しき 院法師
 月清集下 ありとけりかきとる美しき ありとけりかきとる美しき 院法師
 新後撰三 ありとけりかきとる美しき ありとけりかきとる美しき 院法師
 新拾冬 新月のとるまゝとる秋の月 ありとけりかきとる美しき 院法師
 玉葉友 友山の若きとるまゝとる水鏡の ありとけりかきとる美しき 院法師
 月清集上 ありとけりかきとる美しき ありとけりかきとる美しき 院法師
 風雅雜中 出やそ朔白とるれつ山のそめ ありとけりかきとる美しき 院法師
 新千友 ありとけりかきとる美しき ありとけりかきとる美しき 院法師
 拾遺冬 ありとけりかきとる美しき ありとけりかきとる美しき 院法師
 山家集上 ありとけりかきとる美しき ありとけりかきとる美しき 院法師
 拾玉集二 ありとけりかきとる美しき ありとけりかきとる美しき 院法師

拾遺愚草 紅乃霞よあそびとるまゝとる ありとけりかきとる美しき 院法師
 新後拾冬 夕されは松とる風のそととる ありとけりかきとる美しき 院法師
 後撰秋下 梓弓ひふれ山のあそびとる ありとけりかきとる美しき 院法師
 拾遺愚草 さいとるまゝとる風乃とるまゝとる ありとけりかきとる美しき 院法師
 新後拾雅春 三吉野もあそびとるまゝとる ありとけりかきとる美しき 院法師
 新後撰三 さいとるまゝとる水のあそびとる ありとけりかきとる美しき 院法師
 新拾冬四 新水のたのめとるまゝとる ありとけりかきとる美しき 院法師
 新葉を哀傷 みり野とるまゝとるあそびとる ありとけりかきとる美しき 院法師
 同 ありとけりかきとる美しき ありとけりかきとる美しき 院法師
 同 ありとけりかきとる美しき ありとけりかきとる美しき 院法師
 新後拾冬 ありとけりかきとる美しき ありとけりかきとる美しき 院法師
 新拾秋上 女郎とるまゝとるあそびとる ありとけりかきとる美しき 院法師
 風雅雜下 ありとけりかきとる美しき ありとけりかきとる美しき 院法師
 新古雜中 ありとけりかきとる美しき ありとけりかきとる美しき 院法師
 拾遺愚草下 ありとけりかきとる美しき ありとけりかきとる美しき 院法師
 新古秋上 ありとけりかきとる美しき ありとけりかきとる美しき 院法師
 拾玉集一 ありとけりかきとる美しき ありとけりかきとる美しき 院法師

新葉集三 在りてはそとに河邊の ありあつたをさるるわが 新葉集感直
 後拾遺四 時をゆく新葉の志はけりけり ありあつたをさるるわが 光徳天皇
 後撰撰冬 雪ふりて新葉の志はけりけり ありあつたをさるるわが 大納言通具
 新後志四 うつとそがうらうらけりけり ありあつたをさるるわが 後三位右大臣
 新勅志四 花ふりて新葉の志はけりけり ありあつたをさるるわが 實之
 古今物名 我はけりてはそとに河邊の ありあつたをさるるわが 同
 新後志二 いまそとに河邊の河乃後きせよ ありあつたをさるるわが 後原為實
 後拾遺三 ありあつたをさるるわが ありあつたをさるるわが 後秋門院
 拾遺愚草 つゆふりて新葉の志はけりけり ありあつたをさるるわが 殿富門院
 新勅志上 惟ふりてはそとに河邊の ありあつたをさるるわが 殿富門院
 長秋詠藻 ありあつたをさるるわが ありあつたをさるるわが 殿富門院
 風雅雜下 ありあつたをさるるわが ありあつたをさるるわが 殿富門院
 壬生二上 ありあつたをさるるわが ありあつたをさるるわが 殿富門院
 拾遺愚草 ありあつたをさるるわが ありあつたをさるるわが 殿富門院
 玉葉集下 ありあつたをさるるわが ありあつたをさるるわが 殿富門院
 後撰撰傷 ありあつたをさるるわが ありあつたをさるるわが 殿富門院
 玉葉雜文 ありあつたをさるるわが ありあつたをさるるわが 殿富門院
 拾遺志草 ありあつたをさるるわが ありあつたをさるるわが 殿富門院

玉葉集上 ありあつたをさるるわが ありあつたをさるるわが 殿富門院
 後拾遺三 ありあつたをさるるわが ありあつたをさるるわが 殿富門院
 新葉集三 ありあつたをさるるわが ありあつたをさるるわが 殿富門院
 山吹集下 ありあつたをさるるわが ありあつたをさるるわが 殿富門院
 後拾遺三 ありあつたをさるるわが ありあつたをさるるわが 殿富門院
 風雅志三 ありあつたをさるるわが ありあつたをさるるわが 殿富門院
 千載志三 ありあつたをさるるわが ありあつたをさるるわが 殿富門院
 後拾遺三 ありあつたをさるるわが ありあつたをさるるわが 殿富門院
 新後志三 ありあつたをさるるわが ありあつたをさるるわが 殿富門院
 壬生二下 ありあつたをさるるわが ありあつたをさるるわが 殿富門院
 後拾遺三 ありあつたをさるるわが ありあつたをさるるわが 殿富門院
 新後志三 ありあつたをさるるわが ありあつたをさるるわが 殿富門院
 風雅雜中 ありあつたをさるるわが ありあつたをさるるわが 殿富門院
 壬生二下 ありあつたをさるるわが ありあつたをさるるわが 殿富門院
 玉葉集三 ありあつたをさるるわが ありあつたをさるるわが 殿富門院
 新古雜中 ありあつたをさるるわが ありあつたをさるるわが 殿富門院
 拾遺志草 ありあつたをさるるわが ありあつたをさるるわが 殿富門院
 同 ありあつたをさるるわが ありあつたをさるるわが 殿富門院

幾台

三十一

後古雅中 乃るまよは尾上たえ乃後事原 あれうのちも紫世あは 高昭法師
 新後古秋上 秋の夜月よりぬきとる酒 あれう海の床の風 後中和院
 新後拾秋下 月よりすしめさるるつる酒や あれうささるる酒や 花大行
 後千秋下 深きや雲の羅うこれ行く あれうささるる酒や 赤後雅經
 壬生二五中 秋も野をさるる酒や あれうの神のぬれぬは 赤後雅經
 古今志一 すすりあつたこみ浦波さぬ日 あれうのささるる酒や 赤後雅經
 後千秋上 小倉山をたれ秋風さぬ日 あれうのささるる酒や 中務
 新古冬 ぬれしかくうささるる酒や あれうのささるる酒や 紫式
 玉葉秋上 けひいさ我者うた秋さし あれうのささるる酒や 僧
 後千秋下 後事生の平雲のしりもさる あれうのささるる酒や 後九条内侍
 後撰雜二 らうとくを神さうこれたさる あれうのささるる酒や 赤後雅經
 玉葉雜二 臨のう若江の浦の羽さる あれうのささるる酒や 赤後雅經
 新後古雅中 小倉山をたれ秋風さぬ日 あれうのささるる酒や 赤後雅經
 道生 ぬきとる酒や あれうのささるる酒や 赤後雅經
 渡酒 くのささるる酒や あれうのささるる酒や 赤後雅經
 後撰雜一 いそあささるる酒や あれうのささるる酒や 赤後雅經
 古今秋上 女郎さう後事さるる酒や あれうのささるる酒や 赤後雅經
 新古雅中 いそあささるる酒や あれうのささるる酒や 赤後雅經

月清集下 乃るまよは尾上たえ乃後事原 あれうのちも紫世あは 高昭法師
 拾遺雅秋 九重はらもさるる酒や あれうのささるる酒や 善法為政
 風雅秋中 いのちとてあさるる酒や あれうのささるる酒や 善法為政
 後千秋上 さひいさ秋のあさるる酒や あれうのささるる酒や 善法為政
 新古雅中 いのちとてあさるる酒や あれうのささるる酒や 善法為政
 玉葉雜一 志きさの梅さるる酒や あれうのささるる酒や 善法為政
 拾玉集五 るありしむこれ秋の月さる あれうのささるる酒や 善法為政
 後撰雜一 穂のささるる酒や あれうのささるる酒や 善法為政
 壬生二五中 けううささるる酒や あれうのささるる酒や 善法為政
 新後古秋上 伏も山むしりの秋のささる あれうのささるる酒や 善法為政
 後撰雜四 志むいささるる酒や あれうのささるる酒や 善法為政
 拾玉集四 穂うささるる酒や あれうのささるる酒や 善法為政
 山家集下 乃るまよは尾上たえ乃後事原 あれうのちも紫世あは 高昭法師
 大和抄下 いそあささるる酒や あれうのささるる酒や 善法為政
 拾遺雅中 乃るまよは尾上たえ乃後事原 あれうのちも紫世あは 高昭法師
 新後古秋上 乃るまよは尾上たえ乃後事原 あれうのちも紫世あは 高昭法師
 後撰雜下 乃るまよは尾上たえ乃後事原 あれうのちも紫世あは 高昭法師

頁

三十一

新拾雅 如もろり老ゆりかみ合りては ありてよのむけの道 平重基
 新葉雜別 白りあり新とまぬ命りては ありてたりお母あまの道 後村上院山製
 後古抄紙 みの海やあはれきうもくしは ありていり住吉此抄 卜部 兼光
 新拾意四 うりてあつた福は後もせよ ありていり中此抄 中々木史宗母
 新拾意一 ありてたりありとてうりて ありていりうき中此抄 後堀城院山製
 拾遺意草 せき俺ぬ今りるあめ名りり川 ありていりねせ此抄 康延法師
 新抄雜四 山木葉まきつら下草よ ありていりけき此抄 康延法師
 新抄意一 松をいりての原のうりてへよ ありていりお吉此抄 上野
 壬生二京上 うきま下下此抄 ありていりありていり 菅原崇宗
 後子三友 町を又月まらるれ無ひ此抄 ありていりお吉此抄 菅原崇宗
 新拾意一 埋まれまらるれ無ひ此抄 ありていりお吉此抄 菅原崇宗
 拾玉集四 ありていりまらるれ無ひ此抄 ありていりお吉此抄 菅原崇宗
 長秋詠草 けりてあゆり此抄 ありていりお吉此抄 菅原崇宗
 後子三友 我意の衣のうりてまらるれ ありていりお吉此抄 菅原崇宗
 後拾意上 雲をうりりりりりりりりりり ありていりお吉此抄 菅原崇宗
 新抄冬 板をうりりりりりりりりりり ありていりお吉此抄 菅原崇宗
 後拾撰冬 降つりり雪吹く入るとまらるれ ありていりお吉此抄 菅原崇宗
 拾遺愚草 ありていりりりりりりりりりり ありていりお吉此抄 菅原崇宗

壬生二京中 新抄 ありていりりりりりりりりり ありていりお吉此抄 菅原崇宗
 玉葉秋下 雲をうりりりりりりりりり ありていりお吉此抄 菅原崇宗
 子載冬 朔をうりりりりりりりりりり ありていりお吉此抄 菅原崇宗
 新抄古意 吉野をうりりりりりりりりりり ありていりお吉此抄 菅原崇宗
 同 降つりりりりりりりりりりりり ありていりお吉此抄 菅原崇宗
 同冬 さみりりりりりりりりりりりり ありていりお吉此抄 菅原崇宗
 新抄雜一 られりりりりりりりりりりりり ありていりお吉此抄 菅原崇宗
 新抄雜上 うりりりりりりりりりりりり ありていりお吉此抄 菅原崇宗
 壬生二京中 ぬりりりりりりりりりりりり ありていりお吉此抄 菅原崇宗
 同雅秋下 使の國の野をうりりりりりりりり ありていりお吉此抄 菅原崇宗
 壬生二京上 霜をうりりりりりりりりりりりり ありていりお吉此抄 菅原崇宗
 子載冬一 難波のの葉をうりりりりりりりり ありていりお吉此抄 菅原崇宗
 後古秋下 文城をうりりりりりりりりりりり ありていりお吉此抄 菅原崇宗
 新抄古意 みるりりりりりりりりりりりりり ありていりお吉此抄 菅原崇宗
 後千景上 月影の初をうりりりりりりりりり ありていりお吉此抄 菅原崇宗
 新拾意 名をうりりりりりりりりりりりり ありていりお吉此抄 菅原崇宗
 後拾雅下 ありていりりりりりりりりりりりり ありていりお吉此抄 菅原崇宗
 後拾撰雜 ありていりりりりりりりりりりりり ありていりお吉此抄 菅原崇宗

壬生三下 人ふらふけさうむり ありと今世もいひ
 玉葉雅三 紅くふけけ 袖も移さぬ ありと今世もいひ
 後撰撰三 行けぬ命もまふいあきまか ありと今世もいひ
 新撰古撰 足成の山もれ尾のあうらう ありと今世もいひ
 新古三二 如くもくくいまれ松もこれ ありと今世もいひ
 拾遺三草 ありと今世もいひ ありと今世もいひ
 新勅三二 ありと今世もいひ ありと今世もいひ
 拾遺三二 ありと今世もいひ ありと今世もいひ
 新千三二 ありと今世もいひ ありと今世もいひ
 新拾尺教 ありと今世もいひ ありと今世もいひ
 拾玉集四 ありと今世もいひ ありと今世もいひ
 金葉雅上 ありと今世もいひ ありと今世もいひ
 拾玉集一 ありと今世もいひ ありと今世もいひ
 新撰拾冬 ありと今世もいひ ありと今世もいひ
 新千冬 ありと今世もいひ ありと今世もいひ
 拾玉集一 ありと今世もいひ ありと今世もいひ
 新撰拾冬 ありと今世もいひ ありと今世もいひ

玉葉三 大井川ありありわがかり大い ありと今世もいひ
 後撰撰冬 ありと今世もいひ ありと今世もいひ
 東屋 ありと今世もいひ ありと今世もいひ
 新撰古三 ありと今世もいひ ありと今世もいひ
 同秋上 ありと今世もいひ ありと今世もいひ
 後撰撰雜 ありと今世もいひ ありと今世もいひ
 新撰古三 ありと今世もいひ ありと今世もいひ
 玉葉三二 ありと今世もいひ ありと今世もいひ
 月清集上 ありと今世もいひ ありと今世もいひ
 新古三二 ありと今世もいひ ありと今世もいひ
 風雅秋中 ありと今世もいひ ありと今世もいひ
 同三二 ありと今世もいひ ありと今世もいひ
 新撰三二 ありと今世もいひ ありと今世もいひ
 風雅雜上 ありと今世もいひ ありと今世もいひ
 新撰古三 ありと今世もいひ ありと今世もいひ
 後撰三二 ありと今世もいひ ありと今世もいひ

大江宗秀乃 贈徒三位孝子 後二位家隆 左近中将定親 後深草院井内 後深草院井内 前奉後雅有 後深草院井内 陽明門院 皇太后宮李後 朔平門院 三位知家 春後家總女 春後家總女

類聚抄

三十一

風雅卷三 志うし君ようらなうそて あぬあひいもきぬはひ 惟三位宣子

拾遺負上 ち波山の秋のよまあるふも家 あぬれぬわうらう雪水

月清集下 ち乃雪のせせ乃まらるる海邊 あぬぬ雲を秋はてふ山

拾玉集一 あつちちちれれれれれれれ あぬぬ山より思入り那

月清集上 若う上れ其其しりる春の夜 あぬぬ衣をちけり白雪

新葉巻四 うつろん後思下とまきうらあぬぬうら秋をさむらん 拾遺酒言母其

後子巻三 あれれれれれれれれれれあぬぬ心のをれらきうらん 友原宗泰

拾遺巻上 あれれれれれれれれれれあぬぬうら秋をさむらん 式子内親王

後古巻四 けうくもそそそそそそあぬぬうら秋をさむらん

拾玉集又 我そそ何ともそそそそあぬぬうら秋をさむらん

拾遺巻中 ちうて秋の思の思の思あぬぬうら秋をさむらん

新古巻傷 なるなる思をさむそそあぬぬうら秋をさむらん 律師兼選

新後巻 今又思ふの思乃思乃あぬぬうら秋をさむらん 赤天納言氏

拾玉集一 ちち思ふと思ふ思ふ思ふあぬぬうら秋をさむらん 西行法師

新葉巻一 ちち思ふと思ふ思ふ思ふあぬぬうら秋をさむらん

拾遺巻葉 ちち思ふと思ふ思ふ思ふあぬぬうら秋をさむらん 中納言宗泰

新後拾冬 秋よりも思ふ思ふ思ふ思ふあぬぬうら秋をさむらん

拾遺巻葉 思ふ思ふ思ふ思ふ思ふあぬぬうら秋をさむらん

後撰又 郭とらうらるる思ふ思ふあぬぬもそれかたれれ 伴操

新後古葉 ちち思ふと思ふ思ふ思ふあぬぬもそれかたれれ 前大納言氏

後拾秋上 ちち思ふと思ふ思ふ思ふあぬぬもそれかたれれ 赤開白左大臣

後古秋下 ちち思ふと思ふ思ふ思ふあぬぬもそれかたれれ 中納言氏

新古雜下 ちち思ふと思ふ思ふ思ふあぬぬもそれかたれれ 赤大僧正氏

拾玉集又 ちち思ふと思ふ思ふ思ふあぬぬもそれかたれれ 友原宗泰

河苑雜下 ちち思ふと思ふ思ふ思ふあぬぬもそれかたれれ 友原宗泰

拾遺巻上 ちち思ふと思ふ思ふ思ふあぬぬもそれかたれれ 友原宗泰

新拾巻上 ちち思ふと思ふ思ふ思ふあぬぬもそれかたれれ 友原宗泰

古今巻上 ちち思ふと思ふ思ふ思ふあぬぬもそれかたれれ 友原宗泰

後古冬 ちち思ふと思ふ思ふ思ふあぬぬもそれかたれれ 友原宗泰

山家集上 山何の若うせうれてちち思ふあぬぬもそれかたれれ 土佐門院氏

拾玉集四 ちち思ふと思ふ思ふ思ふあぬぬもそれかたれれ 友原宗泰

壬生二上 ちち思ふと思ふ思ふ思ふあぬぬもそれかたれれ 友原宗泰

拾遺巻中 ちち思ふと思ふ思ふ思ふあぬぬもそれかたれれ 友原宗泰

風雅冬 ちち思ふと思ふ思ふ思ふあぬぬもそれかたれれ 友原宗泰

山家集上 ちち思ふと思ふ思ふ思ふあぬぬもそれかたれれ 友原宗泰

新後古冬 ちち思ふと思ふ思ふ思ふあぬぬもそれかたれれ 友原宗泰

類聚抄

三十一

類句抄

風雅雜下

うき世と云ひあはれし

あまのほろひ

有原秀行

新後拾雅

ねしんきりあはれし

あまのほろひ

権僧良慈

風雅雜下

うむくちやうと

あまのほろひ

従二位子

新後拾雅

うむくちやうと

あまのほろひ

妙法蓮華

新葉雜下

老と云ふ

あまのほろひ

源重泰

玉葉集三

うらみと云ふ

あまのほろひ

後深草

新千景集

うらみと云ふ

あまのほろひ

後深草

拾遺集一

うらみと云ふ

あまのほろひ

右近大將

新葉集

うらみと云ふ

あまのほろひ

右近大將

拾遺集下

うらみと云ふ

あまのほろひ

右近大將

新千尺教

うらみと云ふ

あまのほろひ

右近大將

後深草

うらみと云ふ

あまのほろひ

右近大將

拾遺集

うらみと云ふ

あまのほろひ

右近大將

後古雅中

うらみと云ふ

あまのほろひ

右近大將

後拾遺

うらみと云ふ

あまのほろひ

右近大將

拾遺集

うらみと云ふ

あまのほろひ

右近大將

同四

うらみと云ふ

あまのほろひ

右近大將

玉葉集

うらみと云ふ

あまのほろひ

右近大將

同雜三

うらみと云ふ

あまのほろひ

右近大將

後拾遺

うらみと云ふ

あまのほろひ

右近大將

拾遺集

うらみと云ふ

あまのほろひ

右近大將

野分

うらみと云ふ

あまのほろひ

右近大將

玉葉集四

うらみと云ふ

あまのほろひ

右近大將

月清集上

うらみと云ふ

あまのほろひ

右近大將

風雅雜下

うらみと云ふ

あまのほろひ

右近大將

後拾雅上

うらみと云ふ

あまのほろひ

右近大將

拾遺集

うらみと云ふ

あまのほろひ

右近大將

山家集上

うらみと云ふ

あまのほろひ

右近大將

新葉雜中

うらみと云ふ

あまのほろひ

右近大將

後拾雅中

うらみと云ふ

あまのほろひ

右近大將

月清集上

うらみと云ふ

あまのほろひ

右近大將

同

うらみと云ふ

あまのほろひ

右近大將

山家集

拾遺負外上

拾遺恩章

月清集下

新後冬

玉葉冬

新拾雜上

拾遺負外上

玉葉冬下

新初冬上

拾遺恩章

後撰撰冬

拾玉集三

同一

後千雜中

新千葉下

新後秋上

同冬

いづるまじし片山けの霞るねや ありしにささるる月の月

いさかんと山をわらふ秋られて ありしよきささるる月の月

秋のまじし月乃らうも山のとも ありしよきささるる雲も浦に

つらむじり霞まき雲の物られん ありしよきささるる雲も浦に

さえわらう波の春波ささるる ありしよきささるる山に

初秋山尾上れ雲重雲重 ありしにらうもあふまき鐘

浪のうへとつたつていけいささ ありしにらうもあふまき鐘

えくもみよらあふまき鐘 ありしよきささるる雲も浦に

をの雲のうへとつたつていけいささ ありしよきささるる雲も浦に

花もねやめ山の雲れ初秋もあ ありしよきささるる雲も浦に

曳むきささるる雲も浦に ありしよきささるる雲も浦に

時をいと秋のまき雲も浦に ありしよきささるる雲も浦に

同人乃心けつてを物わらうあ ありしよきささるる雲も浦に

いづるまじし秋の心けつてを物わらうあ ありしよきささるる雲も浦に

山の山をわらう雲重雲重 ありしよきささるる雲も浦に

まももをわらう雲重雲重 ありしよきささるる雲も浦に

秘もあふ雲けつてを物わらうあ ありしよきささるる雲も浦に

みまもふ雲も木葉もはらうあ ありしよきささるる雲も浦に

後古文

新古秋下

後撰拾春下

新拾春下

壬生二玉上

新後拾雜春

風雅秋下

同冬

壬生二玉中

玉葉雜三

月清集下

新古春下

新拾冬

新葉秋下

風雅雜中

月清集上

拾遺恩章

風雅秋中

をらうまじし片山けの霞るねや ありしにささるる月の月 中納言定家

みまもふ雲も木葉もはらうあ ありしよきささるる雲も浦に 准的親王

秘もあふ雲けつてを物わらうあ ありしよきささるる雲も浦に 贈後三位為子

新古秋下 ありしよきささるる雲も浦に 清原深頼

後撰拾春下 ありしよきささるる雲も浦に 源頼貞

新拾春下 ありしよきささるる雲も浦に 永極門院

壬生二玉上 ありしよきささるる雲も浦に 永極門院

新後拾雜春 ありしよきささるる雲も浦に 後三位親王

風雅秋下 ありしよきささるる雲も浦に 刑部卿

同冬 ありしよきささるる雲も浦に 刑部卿

壬生二玉中 ありしよきささるる雲も浦に 刑部卿

玉葉雜三 ありしよきささるる雲も浦に 刑部卿

月清集下 ありしよきささるる雲も浦に 刑部卿

新古春下 ありしよきささるる雲も浦に 刑部卿

新拾冬 ありしよきささるる雲も浦に 刑部卿

新葉秋下 ありしよきささるる雲も浦に 刑部卿

風雅雜中 ありしよきささるる雲も浦に 刑部卿

月清集上 ありしよきささるる雲も浦に 刑部卿

拾遺恩章 ありしよきささるる雲も浦に 刑部卿

風雅秋中 ありしよきささるる雲も浦に 刑部卿

後三位家隆

風雅旅

春の雲海の波をまよひて あらうとよき中山 元来

新勅秋上

ゆきまきとて種山のまねり あらうとよき中山の正三位

後拾遺冬

さあつたれ秋の松をまねり あらうとよき中山の大正秀

新拾遺上

あつたれ秋の松をまねり あらうとよき中山の平時秀

新拾遺冬

いづれとてまねりあつたれ秋の松をまねり あらうとよき中山の法正定園

後古哀傷

あつたれ秋の松をまねり あらうとよき中山の本後雅理

同新下

あつたれ秋の松をまねり あらうとよき中山の大正有政

風雅報中

あつたれ秋の松をまねり あらうとよき中山の大正有政

山家集

あつたれ秋の松をまねり あらうとよき中山の大正有政

後拾遺冬

あつたれ秋の松をまねり あらうとよき中山の大正有政

新古集下

あつたれ秋の松をまねり あらうとよき中山の大正有政

新十冬

あつたれ秋の松をまねり あらうとよき中山の大正有政

風雅報中

あつたれ秋の松をまねり あらうとよき中山の大正有政

後千上

あつたれ秋の松をまねり あらうとよき中山の大正有政

山家集下

あつたれ秋の松をまねり あらうとよき中山の大正有政

後千上

あつたれ秋の松をまねり あらうとよき中山の大正有政

新古報中

あつたれ秋の松をまねり あらうとよき中山の大正有政

壬生二上

あつたれ秋の松をまねり あらうとよき中山の大正有政

拾遺負外上

あつたれ秋の松をまねり あらうとよき中山の大正有政

金葉秋

あつたれ秋の松をまねり あらうとよき中山の大正有政

後千秋下

あつたれ秋の松をまねり あらうとよき中山の大正有政

拾遺負外下

あつたれ秋の松をまねり あらうとよき中山の大正有政

新古報中

あつたれ秋の松をまねり あらうとよき中山の大正有政

新古報上

あつたれ秋の松をまねり あらうとよき中山の大正有政

拾遺負外上

あつたれ秋の松をまねり あらうとよき中山の大正有政

新古報上

あつたれ秋の松をまねり あらうとよき中山の大正有政

長秋詠藻下

あつたれ秋の松をまねり あらうとよき中山の大正有政

拾遺負外下

あつたれ秋の松をまねり あらうとよき中山の大正有政

新古報上

あつたれ秋の松をまねり あらうとよき中山の大正有政

玉葉冬

あつたれ秋の松をまねり あらうとよき中山の大正有政

風雅報中

あつたれ秋の松をまねり あらうとよき中山の大正有政

新勅秋下

あつたれ秋の松をまねり あらうとよき中山の大正有政

風雅報中

あつたれ秋の松をまねり あらうとよき中山の大正有政

壬生二上

あつたれ秋の松をまねり あらうとよき中山の大正有政

伏見院古寺 如願法師 進子内親王 院法御衣 後光明寺 前移政左大臣

類切

拾玉集一 山寺の外西乃小田此ひとをまら あまわとてあまきなり
 拾遺草 紅のまみさうり牛とらうさうり あまを先神のくひ
 新後雅中 ちくくしそをせの海に松松 あまあつあまらう山と 太上天皇
 後拾雅中 ちつつき松の木を海をちつちく あまらぬ天のけの后 法眼静登
 新拾雅上 ちつちつちつちつあまあま あまの月もかろ物と 如教法師
 月清集下 うらまひくま名りと小管むらひ あまの月もかろ物と 皇持院贈本
 後古冬 木葉さふちく成初山修か あまの山川此水 金道前太政大
 壬生二系上 けのちと秋たきまきまきあま あまのあまのけかろ 中后神春
 新後雅上 ちりちりちりちりあまあま あまのあまのけかろ 中后神春
 壬生二系中 ちりちりちりちりあまあま あまのあまのけかろ 中后神春
 風雅雜紙 波母山乃小比叡の枝のまきあま あまのあまのけかろ 中后神春
 拾玉集六 初秋山雲ののののあまあま あまのあまのけかろ 中后神春
 新古昔下 みつたたるねのさうさうあま あまのあまのけかろ 中后神春
 玉葉賀 雲れ上うのかさね乃若乃若 あまのあまのけかろ 中后神春
 後拾雅紙 ちりちりちりちりあまあま あまのあまのけかろ 中后神春
 金葉系下 ちりちりちりちりあまあま あまのあまのけかろ 中后神春
 山家集 ちりちりちりちりあまあま あまのあまのけかろ 中后神春

玉葉尺数 何のいれいれあまの草あま 何釋菩提の花を咲かす 天人の奇
 柳 ちりちりちりちりあまあま あまのあまのけかろ 中后神春
 拾玉集一 月影のさすちみれんあまのあま あまのあまのけかろ 中后神春
 拾遺草 ちりちりちりちりあまあま あまのあまのけかろ 中后神春
 玉葉系 ちりちりちりちりあまあま あまのあまのけかろ 中后神春
 新後古冬 ちりちりちりちりあまあま あまのあまのけかろ 中后神春
 後撰系六 ちりちりちりちりあまあま あまのあまのけかろ 中后神春
 壬生二系中 ちりちりちりちりあまあま あまのあまのけかろ 中后神春
 拾玉集一 ちりちりちりちりあまあま あまのあまのけかろ 中后神春
 新初秋上 ちりちりちりちりあまあま あまのあまのけかろ 中后神春
 拾玉集四 ちりちりちりちりあまあま あまのあまのけかろ 中后神春
 後拾雅上 ちりちりちりちりあまあま あまのあまのけかろ 中后神春
 新後古冬 ちりちりちりちりあまあま あまのあまのけかろ 中后神春
 拾遺草上 ちりちりちりちりあまあま あまのあまのけかろ 中后神春
 後子系三 ちりちりちりちりあまあま あまのあまのけかろ 中后神春
 後古昔上 ちりちりちりちりあまあま あまのあまのけかろ 中后神春
 風雅秋中 ちりちりちりちりあまあま あまのあまのけかろ 中后神春
 後拾雅上 ちりちりちりちりあまあま あまのあまのけかろ 中后神春

後古秋下

いづまきうはる月風あそび ありとも 女は秋きり 正三位知家

壬生二京上

今えんとくはれそとく秋野の ありとも ぬね松尾良忠

拾遺愚草上

とつと山ゆつさうとつと月風 ありとも ぬね松尾良忠

新勅五

葉紙まけは外山の如きまき ありとも ぬね松尾良忠

新後拾秋下

あくるくもるれとやさむらも ありとも 守月ふとん 三ノ宮為連

金葉秋

山さとの門四乃いねのあつと ありとも 守月とる月 中細光隆

後撰意三

あつとに思ひまて秋のふれ ありとも 守月とる月 贈太政大臣

拾遺貞外上

も月かきつりりまき秋のふれ ありとも 守月とる月 源俊賴朝臣

後撰雜下

わし大焼まははとまへ世中と ありとも 守月とる月 源俊賴朝臣

後拾遺雜下

わし大焼まははとまへ世中と ありとも 守月とる月 源俊賴朝臣

新秋上

なつとらうはまきひまてまきと ありとも 守月とる月 冷泉

新後拾雜上

も深まきりり山乃あつとも ありとも 守月とる月 正三位皇女

葵

なまきまきりり山乃あつとも ありとも 守月とる月 正三位皇女

壬生二京中

花れ香も各れ戸あつ山風よ ありとも 守月とる月 源定信

拾遺愚草上

山置はれまきりり山乃あつとも ありとも 守月とる月 源定信

後撰拾雜中

あつとも 守月とる月 源定信

壬生二京中

いづの人もや雲井よとるまき ありとも 守月とる月 源定信

金葉五

いづの人もや雲井よとるまき ありとも 守月とる月 源定信

拾遺愚草上

いづの人もや雲井よとるまき ありとも 守月とる月 源定信

後撰撰上

いづの人もや雲井よとるまき ありとも 守月とる月 源定信

新拾遺撰上

いづの人もや雲井よとるまき ありとも 守月とる月 源定信

壬生二京中

いづの人もや雲井よとるまき ありとも 守月とる月 源定信

同上

いづの人もや雲井よとるまき ありとも 守月とる月 源定信

後拾遺意三

いづの人もや雲井よとるまき ありとも 守月とる月 源定信

新拾意三

いづの人もや雲井よとるまき ありとも 守月とる月 源定信

後撰意一

いづの人もや雲井よとるまき ありとも 守月とる月 源定信

金葉意二

いづの人もや雲井よとるまき ありとも 守月とる月 源定信

拾遺愚草上

いづの人もや雲井よとるまき ありとも 守月とる月 源定信

拾遺貞外上

いづの人もや雲井よとるまき ありとも 守月とる月 源定信

拾遺愚草上

いづの人もや雲井よとるまき ありとも 守月とる月 源定信

後撰意三

いづの人もや雲井よとるまき ありとも 守月とる月 源定信

後撰意二

いづの人もや雲井よとるまき ありとも 守月とる月 源定信

山家集

いづの人もや雲井よとるまき ありとも 守月とる月 源定信

後千冬

いづの人もや雲井よとるまき ありとも 守月とる月 源定信

新勅意三

いづの人もや雲井よとるまき ありとも 守月とる月 源定信

源頼朝朝臣

いづの人もや雲井よとるまき ありとも 守月とる月 源定信

赤原良忠

いづの人もや雲井よとるまき ありとも 守月とる月 源定信

源俊賴朝臣

いづの人もや雲井よとるまき ありとも 守月とる月 源定信

冷泉

いづの人もや雲井よとるまき ありとも 守月とる月 源定信

正三位皇女

いづの人もや雲井よとるまき ありとも 守月とる月 源定信

源定信

いづの人もや雲井よとるまき ありとも 守月とる月 源定信

源定信

いづの人もや雲井よとるまき ありとも 守月とる月 源定信

源定信

いづの人もや雲井よとるまき ありとも 守月とる月 源定信

源定信

いづの人もや雲井よとるまき ありとも 守月とる月 源定信

風雅雜中

ありかゝる難波のまはしりて
あまじとせうのゆるねも 後人多か

同

風をいつていせうの波よさか
あまじとせうのゆるねも 同

漢傳

ありとれいひまきまきまき
あまじとせうのゆるねも

新古意二

寺深き寂寂はひのゆもせ
あまじとせうのゆるねも 伏見院は

風雅雜中

をくゆまは錦けいゆとせ
あまじとせうのゆるねも 伏見院は

新古意三

と風うさひけいゆとせ
あまじとせうのゆるねも 九河内務恒

後古賀

り人のまことにかさす様花
あまじとせうのゆるねも 茶内大氏

後撰秋中

秋葉乃さつと秋とつら
あまじとせうのゆるねも 貫之

風雅意四

秋の葉れまつく秋とつら
あまじとせうのゆるねも 同

新古意下

甚よあし老木の様ちめれ
あまじとせうのゆるねも 伏見院は

風雅意中

足引の山より日舟けり
あまじとせうのゆるねも 花山院は

玉葉様

秋とせうのゆるねも
あまじとせうのゆるねも 院新宰相

同古下

さうりてんれまの枝乃錦ま
あまじとせうのゆるねも 大僧空海

風雅意

山よりいつてとせうのゆる
あまじとせうのゆるねも 延政門降新世

玉葉意

鶴籠舟棹さつとまのゆる
あまじとせうのゆるねも 板原俊言下

後古冬

ちうらう令とつら乃がと
あまじとせうのゆるねも 交中絶言定

新古意一

世にとせうのゆるねも
あまじとせうのゆるねも 板原永能

後拾尺教

山の井乃あぬかけちか
あまじとせうのゆるねも 信實綱作

新古拾意三

さうりてんれまの枝乃錦ま
あまじとせうのゆるねも 大貳三位

古今秋下

久うれ雲の上をさうり
あまじとせうのゆるねも とりふの御

新古秋上

解り風も光し清くかう
あまじとせうのゆるねも 新院淨御

新古秋上

袖ひらて我まよひまの
あまじとせうのゆるねも 板原長能

玉葉秋上

久うれ雲井さうりま
あまじとせうのゆるねも 大徳寺為家

新古秋上

雲霞てんれまの枝乃錦ま
あまじとせうのゆるねも 大徳寺行宗

新古拾春下

雲井さうりまの枝乃錦ま
あまじとせうのゆるねも 後毛内院御

後古春上

甚れまの枝乃錦ま
あまじとせうのゆるねも 先明堂主の御

大和抄後

白雪れまの枝乃錦ま
あまじとせうのゆるねも 板原行宗

新古拾春下

冬まの山の雪はまの枝乃錦ま
あまじとせうのゆるねも 前光孝坊教定

新古意四

秋まの月の影まの枝乃錦ま
あまじとせうのゆるねも 板原大氏

後古撰替

みまのまの枝乃錦ま
あまじとせうのゆるねも 京極大氏

後衣一

九重の雲のうまの枝乃錦ま
あまじとせうのゆるねも 後毛内院御

新古冬

かさりてんれまの枝乃錦ま
あまじとせうのゆるねも 後毛内院御

後古秋上

物思ひ雲れまの枝乃錦ま
あまじとせうのゆるねも 後毛内院御

同古上

山様雲れまの枝乃錦ま
あまじとせうのゆるねも 板原永能

伴勢抄後

新古のまの枝乃錦ま
あまじとせうのゆるねも 板原永能

新拾遺 月の初めは... 後深院御製
 玉葉巻四 いし... 伊勢
 風雅秋上 せう... 九河内躬恒
 拾玉集七 月...
 後衣三 う...
 壬生二下 い...
 古今雅下 い... 源仲雄
 新撰古器録 心... 源仲雄
 月清集下 松...
 後撰撰雅上 風... 後深院御製
 新古巻上 あ... 太上天皇
 壬生二中 白...
 新古巻下 十... 源俊賴御下
 後撰巻一 後... 源俊賴御下
 新撰雅四 あ... 源長部下
 後撰巻二 又... 能因法師
 後撰拾秋下 あ... 清守御冬
 後撰拾雅上 う... 前内大臣

後拾遺巻五 松... 源重之
 玉葉巻三 風... 後人守
 拾玉集二 宮... 人麻呂
 玉葉巻二 氏... 赤中御家
 後撰拾賀 ら... 乃...
 古今雅下 あ... 乃...
 玉葉巻二 さ... 乃...
 古今秋下 白... 乃...
 月清集上 夕... 乃...
 夕雲 夕... 乃...
 新古雅下 あ... 乃...
 拾玉集一 較... 乃...
 須磨 ち... 乃...
 後撰撰雅 心... 乃...
 新古雅下 あ... 乃...
 後撰撰雅中 新... 乃...
 後撰撰雅下 あ... 乃...
 新古雅中 ね... 乃...

後撰撰雅

後撰撰雅

越前
 三三位知家
 後撰撰雅
 乃...

拾遺集 一 今迄 けりし我が方の時きくく
 新拾遺集 けりし我が方の時きくく
 壬生二上 けりし我が方の時きくく
 拾遺集上 けりし我が方の時きくく
 新世之四 けりし我が方の時きくく
 山家集下 けりし我が方の時きくく
 金葉雜下 けりし我が方の時きくく
 新勅社歌 けりし我が方の時きくく
 後撰撰張 けりし我が方の時きくく
 玉葉集三 けりし我が方の時きくく
 同三三 けりし我が方の時きくく
 後撰撰文 けりし我が方の時きくく
 新古今長傳 けりし我が方の時きくく
 新古今社歌 けりし我が方の時きくく
 拾遺集草上 けりし我が方の時きくく
 拾遺集又 けりし我が方の時きくく
 新古今社歌 けりし我が方の時きくく

拾遺集 一 今迄 けりし我が方の時きくく
 新拾遺集 けりし我が方の時きくく
 壬生二上 けりし我が方の時きくく
 拾遺集上 けりし我が方の時きくく
 新世之四 けりし我が方の時きくく
 山家集下 けりし我が方の時きくく
 金葉雜下 けりし我が方の時きくく
 新勅社歌 けりし我が方の時きくく
 後撰撰張 けりし我が方の時きくく
 玉葉集三 けりし我が方の時きくく
 同三三 けりし我が方の時きくく
 後撰撰文 けりし我が方の時きくく
 新古今長傳 けりし我が方の時きくく
 新古今社歌 けりし我が方の時きくく
 拾遺集草上 けりし我が方の時きくく
 拾遺集又 けりし我が方の時きくく
 新古今社歌 けりし我が方の時きくく

後拾遺冬

雲がうつろひてあつた柱の戸れ
あけぬらぬとけあをそき
春後雅經

拾遺愚草

あかひのうらみ山ふりし
あけぬまぬとけあをそき
拾遺愚草

拾玉集一

あかひのうらみ山ふりし
あけぬまぬとけあをそき
拾遺愚草

新古今

あけぬまぬとけあをそき
あけぬまぬとけあをそき
後拾遺冬

後拾遺冬

あけぬまぬとけあをそき
あけぬまぬとけあをそき
後拾遺冬

新古今冬

あけぬまぬとけあをそき
あけぬまぬとけあをそき
後拾遺冬

新古今秋上

あけぬまぬとけあをそき
あけぬまぬとけあをそき
後拾遺冬

凡雅秋上

あけぬまぬとけあをそき
あけぬまぬとけあをそき
後拾遺冬

拾遺愚草上

あけぬまぬとけあをそき
あけぬまぬとけあをそき
後拾遺冬

新古今雅上

あけぬまぬとけあをそき
あけぬまぬとけあをそき
後拾遺冬

同書上

あけぬまぬとけあをそき
あけぬまぬとけあをそき
後拾遺冬

新古今雅上

あけぬまぬとけあをそき
あけぬまぬとけあをそき
後拾遺冬

拾遺愚草中

あけぬまぬとけあをそき
あけぬまぬとけあをそき
後拾遺冬

後拾遺冬

あけぬまぬとけあをそき
あけぬまぬとけあをそき
後拾遺冬

壬生二系中

あけぬまぬとけあをそき
あけぬまぬとけあをそき
後拾遺冬

後撰雜一

あけぬまぬとけあをそき
あけぬまぬとけあをそき
後拾遺冬

拾遺愚草下

あけぬまぬとけあをそき
あけぬまぬとけあをそき
後拾遺冬

後撰雜一

あけぬまぬとけあをそき
あけぬまぬとけあをそき
後拾遺冬

大和御酒

あけぬまぬとけあをそき
あけぬまぬとけあをそき
後拾遺冬

新葉雜中

あけぬまぬとけあをそき
あけぬまぬとけあをそき
後拾遺冬

拾遺愚草上

あけぬまぬとけあをそき
あけぬまぬとけあをそき
後拾遺冬

玉葉愚草二

あけぬまぬとけあをそき
あけぬまぬとけあをそき
後拾遺冬

壬生二系中

あけぬまぬとけあをそき
あけぬまぬとけあをそき
後拾遺冬

凡雅冬

あけぬまぬとけあをそき
あけぬまぬとけあをそき
後拾遺冬

拾遺愚草一

あけぬまぬとけあをそき
あけぬまぬとけあをそき
後拾遺冬

玉葉賀

あけぬまぬとけあをそき
あけぬまぬとけあをそき
後拾遺冬

新古今雅中

あけぬまぬとけあをそき
あけぬまぬとけあをそき
後拾遺冬

後千冬

あけぬまぬとけあをそき
あけぬまぬとけあをそき
後拾遺冬

後古器雅

あけぬまぬとけあをそき
あけぬまぬとけあをそき
後拾遺冬

壬生二系中

あけぬまぬとけあをそき
あけぬまぬとけあをそき
後拾遺冬

後拾遺秋

あけぬまぬとけあをそき
あけぬまぬとけあをそき
後拾遺冬

拾遺愚草下

あけぬまぬとけあをそき
あけぬまぬとけあをそき
後拾遺冬

新後拾遺集 くらせ山尾上の雲丸へそまも あけゆかねはれすけり 右大井秀長
 新子五 みるはらぬいもあまをくま あけゆかまの初吉鳴り 入道三親雅
 新後拾遺秋 矢の戸北雲鳴りそまのくと あけゆかまをけり金 九条兼光
 新後霧集 鐘のまもはくぬ珠の心落る あけゆかまは月まゝの月 後吉親雅
 新後古秋上 後こもあやうきまをさる あけゆかまは天乃羽の月 源重之
 新後古秋上 立くつりあへなきまけりうらめ あけゆかまは天の川波 平師氏
 拾玉集三 かりま乃井れらぬあふりあ 前中絶言定家
 後千器集 雲れりうき雲の南を乃板座 あけゆかまは月もまをあうり
 月清集上 言砂れねも別やあしむらん あけゆかまは波も流まをり
 新葉集 雲れく月をまうまうまを あけゆかまはまをまをりあ
 拾玉集四 大空よひまきまをさる あけゆかまはまをまをりあ
 後拾秋上 ちのあれまをまをまをまを あけゆかまはまをまをりあ
 新拾秋上 何吉れねまをまをまをまを あけゆかまはまをまをりあ
 新勅意三 松河のせまをまをまをまを あけゆかまはまをまをりあ
 玉葉意二 きぬくまをまをまをまをまを あけゆかまはまをまをりあ
 後拾遺集 いまへのまをまをまをまを あけゆかまはまをまをりあ
 新後古意二 さあやまをまをまをまをまを あけゆかまはまをまをりあ
 後拾意二 まもまをまをまをまをまを あけゆかまはまをまをりあ

新古意二 此のて後まをまをまをまを あけゆかまはまをまをりあ
 壬生二下 いたのまをまをまをまをまを あけゆかまはまをまをりあ
 子裁意四 なまをまをまをまをまをまを あけゆかまはまをまをりあ
 新後意二 まもまをまをまをまをまをまを あけゆかまはまをまをりあ
 玉葉尺教 かりまをまをまをまをまをまを あけゆかまはまをまをりあ
 後子意二 後のまをまをまをまをまをまを あけゆかまはまをまをりあ
 新古意二 中くまをまをまをまをまをまを あけゆかまはまをまをりあ
 新拾意二 まもまをまをまをまをまをまを あけゆかまはまをまをりあ
 後撰意三 いまのまをまをまをまをまをまを あけゆかまはまをまをりあ
 後拾意三 思ひ入道まをまをまをまをまを あけゆかまはまをまをりあ
 拾遺意一 君まをまをまをまをまをまをまを あけゆかまはまをまをりあ
 後子意三 つれまをまをまをまをまをまをまを あけゆかまはまをまをりあ
 新後古意四 なまをまをまをまをまをまをまを あけゆかまはまをまをりあ
 新子意一 志まをまをまをまをまをまをまを あけゆかまはまをまをりあ
 新古意二 あまをまをまをまをまをまをまを あけゆかまはまをまをりあ
 拾玉集一 られて後まをまをまをまをまをまを あけゆかまはまをまをりあ
 後子意二 くらまをまをまをまをまをまをまを あけゆかまはまをまをりあ
 新後古意三 後のまをまをまをまをまをまをまを あけゆかまはまをまをりあ

後拾意二 後拾意二 後拾意二 後拾意二 後拾意二
 玉葉尺教 玉葉尺教 玉葉尺教 玉葉尺教 玉葉尺教
 後子意二 後子意二 後子意二 後子意二 後子意二
 新古意二 新古意二 新古意二 新古意二 新古意二
 新拾意二 新拾意二 新拾意二 新拾意二 新拾意二
 後撰意三 後撰意三 後撰意三 後撰意三 後撰意三
 拾遺意一 拾遺意一 拾遺意一 拾遺意一 拾遺意一
 後子意三 後子意三 後子意三 後子意三 後子意三
 新後古意四 新後古意四 新後古意四 新後古意四 新後古意四
 新子意一 新子意一 新子意一 新子意一 新子意一
 新古意二 新古意二 新古意二 新古意二 新古意二
 拾玉集一 拾玉集一 拾玉集一 拾玉集一 拾玉集一
 後子意二 後子意二 後子意二 後子意二 後子意二
 新後古意三 新後古意三 新後古意三 新後古意三 新後古意三

新後志三 小人世よりちまきりるを志す ありてかきりて命あまて 太上天皇
 後後拾志三 仰せ世よりちまきりるを志す ありてかきりて命あまて 惟宗光吉
 新後志一 物思ふ後乃ちまきりるを志す ありてかきりて命あまて 前大僧正聖兼
 拾遺愚草 尋ねともちまきりるを志す ありてかきりて命あまて 前大僧正聖兼
 新後拾志三 小人世よりちまきりるを志す ありてかきりて命あまて 前大僧正聖兼
 新葉志四 月は余流よりまきりるを志す ありてかきりて命あまて 前大僧正聖兼
 後志子賀 我君の位乃ちまきりるを志す ありてかきりて命あまて 前大僧正聖兼
 新勅志三 清くまきりるを志す ありてかきりて命あまて 前大僧正聖兼
 新葉志三 何事をもまきりるを志す ありてかきりて命あまて 前大僧正聖兼
 後拾志四 織女よりまきりるを志す ありてかきりて命あまて 前大僧正聖兼
 新葉志二 いろもまきりるを志す ありてかきりて命あまて 前大僧正聖兼
 新後志三 思ひねは我よりまきりるを志す ありてかきりて命あまて 前大僧正聖兼
 新葉志二 志願する月乃川のまきりるを志す ありてかきりて命あまて 前大僧正聖兼
 玉葉秋上 何事をもまきりるを志す ありてかきりて命あまて 前大僧正聖兼
 新拾志三 かくてまきりるを志す ありてかきりて命あまて 前大僧正聖兼
 同 移より人の後を志す ありてかきりて命あまて 前大僧正聖兼
 新千志四 西新の心よりまきりるを志す ありてかきりて命あまて 前大僧正聖兼

拾遺秋 いろもまきりるを志す ありてかきりて命あまて 前大僧正聖兼
 後千志三 形もまきりるを志す ありてかきりて命あまて 前大僧正聖兼
 玉葉志三 いろもまきりるを志す ありてかきりて命あまて 前大僧正聖兼
 後千志二 いろもまきりるを志す ありてかきりて命あまて 前大僧正聖兼
 新拾秋上 いろもまきりるを志す ありてかきりて命あまて 前大僧正聖兼
 後千志二 いろもまきりるを志す ありてかきりて命あまて 前大僧正聖兼
 後拾遺志 いろもまきりるを志す ありてかきりて命あまて 前大僧正聖兼
 後撰志四 いろもまきりるを志す ありてかきりて命あまて 前大僧正聖兼
 新千志三 いろもまきりるを志す ありてかきりて命あまて 前大僧正聖兼
 新勅志三 いろもまきりるを志す ありてかきりて命あまて 前大僧正聖兼
 新千志三 いろもまきりるを志す ありてかきりて命あまて 前大僧正聖兼
 壬生三志上 いろもまきりるを志す ありてかきりて命あまて 前大僧正聖兼
 拾遺志一 いろもまきりるを志す ありてかきりて命あまて 前大僧正聖兼
 金葉志三 いろもまきりるを志す ありてかきりて命あまて 前大僧正聖兼
 新拾志二 いろもまきりるを志す ありてかきりて命あまて 前大僧正聖兼
 新勅志三 いろもまきりるを志す ありてかきりて命あまて 前大僧正聖兼
 大和抄 いろもまきりるを志す ありてかきりて命あまて 前大僧正聖兼
 後拾秋上 いろもまきりるを志す ありてかきりて命あまて 前大僧正聖兼

志孝法師
 大納言忠家
 紀後文
 尊親法師
 良暹法師
 瓊内親王
 皇太后院御
 前大納言忠定
 少将乙教母
 在宗雅冬抄
 延長法衣
 指中納言平

新拾遺四 かりゆ人のうらた秋風う ありこのまをうらまはるの 前左後定宗

新拾遺上 二ぬらふくくはれききそり ありこのまき松原村志 大納言為世

新拾遺中 教りて居りてまの月うら ありこのまの秋のむらり 大納言小宰相

拾玉集一 今へさつてまのまのまの ありこのまのまのまのま 八條入道内大臣

新拾遺中 二代まのうけつて君とまのまの ありこのまのまのまのま 指中納言為重

新拾遺上 まのりつ雲れつてまのまのまの ありこのまのまのまのま 民志成范

新拾遺中 二のぬまをりてまのまのまの ありこのまのまのまのま 若石左衛門

金葉雜上 まのぬまをりてまのまのまの ありこのまのまのまのま 若石左衛門

新拾遺中 人まのぬまをりてまのまのまの ありこのまのまのまのま 若石左衛門

新拾遺中 まのぬまをりてまのまのまの ありこのまのまのまのま 若石左衛門

拾遺愚草 ありこのまのまのまのまの ありこのまのまのまのま 若石左衛門

拾遺自注 ありこのまのまのまのまの ありこのまのまのまのま 若石左衛門

玉葉志二 ありこのまのまのまのまの ありこのまのまのまのま 若石左衛門

新拾遺四 ありこのまのまのまのまの ありこのまのまのまのま 若石左衛門

新拾遺中 ありこのまのまのまのまの ありこのまのまのまのま 若石左衛門

新拾遺上 ありこのまのまのまのまの ありこのまのまのまのま 若石左衛門

新拾遺中 ありこのまのまのまのまの ありこのまのまのまのま 若石左衛門

同 ありこのまのまのまのまの ありこのまのまのまのま 若石左衛門

風雅神祇 今まを八浦まのそ月まのまの ありこのまのまのまのま 前左大臣

新拾遺二 うき人のつらまのつたのあを ありこのまのまのまのま 源光正

千載志二 ひさすまの恨まのまのまのまの ありこのまのまのまのま 左忠盛通

新拾遺上 ありこのまのまのまのまのまの ありこのまのまのまのま 平貞時下

新拾遺上 ありこのまのまのまのまのまの ありこのまのまのまのま 妙光寺内大臣

新拾遺下 ありこのまのまのまのまのまの ありこのまのまのまのま 前大僧正

大和曲終 ありこのまのまのまのまのまの ありこのまのまのまのま 若石左衛門

金葉雜上 ありこのまのまのまのまのまの ありこのまのまのまのま 若石左衛門

壬生二下 ありこのまのまのまのまのまの ありこのまのまのまのま 若石左衛門

新拾遺上 ありこのまのまのまのまのまの ありこのまのまのまのま 若石左衛門

新拾遺中 ありこのまのまのまのまのまの ありこのまのまのまのま 若石左衛門

新拾遺上 ありこのまのまのまのまのまの ありこのまのまのまのま 若石左衛門

新拾遺中 ありこのまのまのまのまのまの ありこのまのまのまのま 若石左衛門

新拾遺上 ありこのまのまのまのまのまの ありこのまのまのまのま 若石左衛門

新拾遺中 ありこのまのまのまのまのまの ありこのまのまのまのま 若石左衛門

新拾遺上 ありこのまのまのまのまのまの ありこのまのまのまのま 若石左衛門

新拾遺中 ありこのまのまのまのまのまの ありこのまのまのまのま 若石左衛門

拾玉集六 ありこのまのまのまのまのまの ありこのまのまのまのま 若石左衛門

新後古秋

秋風のさし吹くる多宿乃

あさくらまのあそび

源持元

新後拾秋下

あさくらまのあそび

あさくらまのあそび

律守回冬

拾遺雅秋

あさくらまのあそび

あさくらまのあそび

土内門院片製

月清集下

あさくらまのあそび

あさくらまのあそび

人まほ

後拾遺雅三

あさくらまのあそび

あさくらまのあそび

和泉或秋

後拾秋下

あさくらまのあそび

あさくらまのあそび

太宰権帥為隆

新古秋下

あさくらまのあそび

あさくらまのあそび

大伴信忠

新勅雅三

あさくらまのあそび

あさくらまのあそび

中納言四信

後拾遺秋上

あさくらまのあそび

あさくらまのあそび

律師長海

玉葉集上

あさくらまのあそび

あさくらまのあそび

鎌倉右大臣

後拾遺秋上

あさくらまのあそび

あさくらまのあそび

民部卿為房

拾遺愚草

あさくらまのあそび

あさくらまのあそび

太皇太后御

蘭

あさくらまのあそび

あさくらまのあそび

太皇太后御

月清集下

あさくらまのあそび

あさくらまのあそび

太皇太后御

風雅志二

あさくらまのあそび

あさくらまのあそび

従三位親子

金葉雅上

あさくらまのあそび

あさくらまのあそび

春法師秋

後拾遺志三

あさくらまのあそび

あさくらまのあそび

源信明秋

後衣一

あさくらまのあそび

あさくらまのあそび

春法師秋

同

あさくらまのあそび

あさくらまのあそび

春法師秋

後拾遺志三

あさくらまのあそび

あさくらまのあそび

春法師秋

拾玉集七

あさくらまのあそび

あさくらまのあそび

春法師秋

新千上上

あさくらまのあそび

あさくらまのあそび

春法師秋

新後古秋上

あさくらまのあそび

あさくらまのあそび

春法師秋

新拾秋下

あさくらまのあそび

あさくらまのあそび

春法師秋

同秋上

あさくらまのあそび

あさくらまのあそび

春法師秋

後拾遺志三

あさくらまのあそび

あさくらまのあそび

春法師秋

後千上上

あさくらまのあそび

あさくらまのあそび

春法師秋

新古尺教

あさくらまのあそび

あさくらまのあそび

春法師秋

後拾遺下

あさくらまのあそび

あさくらまのあそび

春法師秋

類白

類白

壬生二上

紅く赤くもみりしれり

あきとつらうとまを

大納言俊光

新子雑上

はるも又いつまでと松の

あきとつらうとまを

大納言俊光

拾玉集四

ささげ海よまれば水とくは

あきとつらうとまを

大納言俊光

長秋詠集

夏れぬもつるまはけは

あきとつらうとまを

大納言俊光

同

七夕のあはれさうれは

あきとつらうとまを

大納言俊光

拾遺集外上

つれなきむしは

あきとつらうとまを

大納言俊光

新子秋上

うらりけたるうらの

あきとつらうとまを

大納言俊光

新子秋下

みりまはけのまは

あきとつらうとまを

大納言俊光

拾遺集外上

ひらけぬまは

あきとつらうとまを

大納言俊光

長秋詠集

夏れぬもつるまは

あきとつらうとまを

大納言俊光

月清集下

又月山とりの

あきとつらうとまを

大納言俊光

新勅秋下

あきとつらうとまを

あきとつらうとまを

大納言俊光

風雅秋下

あきとつらうとまを

あきとつらうとまを

大納言俊光

新撰秋下

あきとつらうとまを

あきとつらうとまを

大納言俊光

古今秋下

あきとつらうとまを

あきとつらうとまを

大納言俊光

玉葉秋下

あきとつらうとまを

あきとつらうとまを

大納言俊光

子秋秋下

あきとつらうとまを

あきとつらうとまを

大納言俊光

新撰秋下

あきとつらうとまを

あきとつらうとまを

大納言俊光

拾遺集外上

あきとつらうとまを

あきとつらうとまを

大納言俊光

長秋詠集

あきとつらうとまを

あきとつらうとまを

大納言俊光

月清集下

あきとつらうとまを

あきとつらうとまを

大納言俊光

新勅秋下

あきとつらうとまを

あきとつらうとまを

大納言俊光

風雅秋下

あきとつらうとまを

あきとつらうとまを

大納言俊光

新撰秋下

あきとつらうとまを

あきとつらうとまを

大納言俊光

古今秋下

あきとつらうとまを

あきとつらうとまを

大納言俊光

玉葉秋下

あきとつらうとまを

あきとつらうとまを

大納言俊光

子秋秋下

あきとつらうとまを

あきとつらうとまを

大納言俊光

新撰秋下

あきとつらうとまを

あきとつらうとまを

大納言俊光

拾遺集外上

あきとつらうとまを

あきとつらうとまを

大納言俊光

長秋詠集

あきとつらうとまを

あきとつらうとまを

大納言俊光

月清集下

あきとつらうとまを

あきとつらうとまを

大納言俊光

新勅秋下

あきとつらうとまを

あきとつらうとまを

大納言俊光

風雅秋下

あきとつらうとまを

あきとつらうとまを

大納言俊光

新撰秋下

あきとつらうとまを

あきとつらうとまを

大納言俊光

古今秋下

あきとつらうとまを

あきとつらうとまを

大納言俊光

後撰撰替

いづりにおちる雲の月をみれば ありはひりり照ほさるる 徳大寺左大臣

初花秋

あき乃あわさるる水の西よ ありはひらけしきさほく 道命法師

拾遺撰替

いづれいふまはれ山のりらちん ありはひらけしきさほく 右大辨通俊

子載秋下

虫の音あはさるるはははは ありはひらけしきさほく 寂蓮法師

拾玉集六

郭云るく一志はせむる人 ありはひらけしきさほく 寂蓮法師

後古秋下

とりせしと山をけしきさほく ありはひらけしきさほく 寂蓮法師

拾遺愚草

とつとりのちりすうの山風を ありはひらけしきさほく 寂蓮法師

壬生二系上

我袖いよれはまきまけしきさほく ありはひらけしきさほく 寂蓮法師

玉葉秋下

きよのこゝろはははははは ありはひらけしきさほく 寂蓮法師

古今秋下

ちるちり秋のいづまはははは ありはひらけしきさほく 寂蓮法師

新撰古秋

天のくろくろくははははは ありはひらけしきさほく 寂蓮法師

拾玉集八

我袖いけしきさほくははは ありはひらけしきさほく 寂蓮法師

新子集上

あき乃あわさるる水の西よ ありはひらけしきさほく 道命法師

横笛

あき乃あわさるる水の西よ ありはひらけしきさほく 道命法師

新撰拾遺

あき乃あわさるる水の西よ ありはひらけしきさほく 道命法師

玉葉秋下

あき乃あわさるる水の西よ ありはひらけしきさほく 道命法師

拾遺愚草

あき乃あわさるる水の西よ ありはひらけしきさほく 道命法師

拾玉集四

あき乃あわさるる水の西よ ありはひらけしきさほく 道命法師

壬生二系上

あき乃あわさるる水の西よ ありはひらけしきさほく 道命法師

長秋詠藻下

あき乃あわさるる水の西よ ありはひらけしきさほく 道命法師

後撰撰替

あき乃あわさるる水の西よ ありはひらけしきさほく 道命法師

新撰拾遺下

あき乃あわさるる水の西よ ありはひらけしきさほく 道命法師

新撰拾遺四

あき乃あわさるる水の西よ ありはひらけしきさほく 道命法師

浄法

あき乃あわさるる水の西よ ありはひらけしきさほく 道命法師

後撰撰替

あき乃あわさるる水の西よ ありはひらけしきさほく 道命法師

拾遺撰替

あき乃あわさるる水の西よ ありはひらけしきさほく 道命法師

山家集下

あき乃あわさるる水の西よ ありはひらけしきさほく 道命法師

同上

あき乃あわさるる水の西よ ありはひらけしきさほく 道命法師

拾遺自外下

あき乃あわさるる水の西よ ありはひらけしきさほく 道命法師

同上

あき乃あわさるる水の西よ ありはひらけしきさほく 道命法師

後撰撰替

あき乃あわさるる水の西よ ありはひらけしきさほく 道命法師

拾遺愚草

あき乃あわさるる水の西よ ありはひらけしきさほく 道命法師

新撰古集

あき乃あわさるる水の西よ ありはひらけしきさほく 道命法師

拾遺愚草

あき乃あわさるる水の西よ ありはひらけしきさほく 道命法師

新撰古集上

あき乃あわさるる水の西よ ありはひらけしきさほく 道命法師

新撰古集上

あき乃あわさるる水の西よ ありはひらけしきさほく 道命法師

壬生二下 三橋の山技の揚よふくあしあもさくぬ月を流ゆ
 玉葉意四 髪を切りさの葉あつる世にぬ あきとくいあはけくめきか 指中酒言定か
 拾玉集一 心まきんよん心つげとくや あきとくい此の世もあはれ
 新撰秋上 人あまぬ宿は萩原とく事 あきとくい世はつてよまあれ
 後撰撰秋中 いくつりさ海のうへにさきあ あきとくい月をさるん
 新撰秋上 けらんいづくにわくさく波の あきとくいささるん
 後撰撰秋 ちみちをぬぬさともさくさくあ あきとくいささるん
 新撰秋上 惟ともまつち山のさきああ下 あきとくいささるん
 拾玉集三 とも月ありひさし乃んぬ あきとくいささるん
 後撰秋上 いとく物ありさ宿の萩原さあ あきとくいささるん
 新撰意四 さあぬささるんささるんあ あきとくいささるん
 拾玉集六 さあぬささるん川の原の上あ あきとくいささるん
 後撰遺秋 いくつりさあかたささるんあ あきとくいささるん
 河原意 下もみちひとくささるんあ あきとくいささるん
 新撰秋上 次下はあまの神よ別ある浦風 あきとくいささるん
 拾玉集六 ねく山さ雪けけぬささるんあ あきとくいささるん
 新撰秋上 いさるれあ秋の葉ささるんあ あきとくいささるん
 拾遺負外 くるる乃ささるんあささるんあ あきとくいささるん

拾遺意上 ちの燈明ささるんあ あきとくいささるん
 新撰謝別 かしらある命なる世にぬ あきとくいささるん
 新撰意又 方にささるんあささるんあ あきとくいささるん
 拾玉集七 木の葉ささるんあささるんあ あきとくいささるん
 新撰秋下 旧教ささるんあささるんあ あきとくいささるん
 拾遺意上 ちのぬささるんあささるんあ あきとくいささるん
 同 ちのぬささるんあささるんあ あきとくいささるん
 新撰賀 ちのぬささるんあささるんあ あきとくいささるん
 風雅秋下 月もささるんあささるんあ あきとくいささるん
 後撰撰秋 いくつりさあささるんあ あきとくいささるん
 拾遺意上 ちのぬささるんあささるんあ あきとくいささるん
 河原意 ちのぬささるんあささるんあ あきとくいささるん
 風雅雜下 ちのぬささるんあささるんあ あきとくいささるん
 拾遺意上 ちのぬささるんあささるんあ あきとくいささるん
 壬生二下 ちのぬささるんあささるんあ あきとくいささるん
 新撰意 ちのぬささるんあささるんあ あきとくいささるん
 風雅意 ちのぬささるんあささるんあ あきとくいささるん
 同秋上 ちのぬささるんあささるんあ あきとくいささるん

権僧正道長
 六條右大臣
 大納言實教
 大納言實任
 伏見院中
 後堀河院中
 伏見院中
 二條院瀧岐
 権中御意雄
 後義隆御

新後古秋 風さむき老の露はまはるる 秋をたかぬ衣うらうの 後醍醐院 丹波長世卿
 風雅雜上 牙たうれあさむしとてるる 秋をたかぬ老と歳人 丹波長世卿
 新葉雜上 梅さむしうらうれの葉の香は 秋をたかぬとてらるる月外 後醍醐院
 新拾遺雜上 けゆけと花の香ははてしは 秋をたかぬとてらるる月外 後醍醐院
 拾遺自外上 みるははよふと急まはるる 秋をたかぬとてらるる月外 後醍醐院
 月清集下 山ゆかあつと氷ははてしは 秋をたかぬとてらるる月外 後醍醐院
 新拾遺下 みるはははてしははてしは 秋をたかぬとてらるる月外 後醍醐院
 月清集上 ささきと松の葉ははてしは 秋をたかぬとてらるる月外 後醍醐院
 拾遺自外上 あつと松の葉ははてしは 秋をたかぬとてらるる月外 後醍醐院
 後千冬 いづれと今朝の時をば 秋をたかぬとてらるる月外 後醍醐院
 月清集 ちちちとこれちちち 秋をたかぬとてらるる月外 後醍醐院
 新小意四 ちちちの葉ははてしは 秋をたかぬとてらるる月外 後醍醐院
 新後雜上 よあけははてしははてしは 秋をたかぬとてらるる月外 後醍醐院
 後拾遺上 ささきと松の葉ははてしは 秋をたかぬとてらるる月外 後醍醐院
 月清集 ね乃とよとてらるる月外 秋をたかぬとてらるる月外 後醍醐院
 新後雜上 けいこうとてらるる月外 秋をたかぬとてらるる月外 後醍醐院
 後千冬 ささきと松の葉ははてしは 秋をたかぬとてらるる月外 後醍醐院
 拾遺自外上 ささきと松の葉ははてしは 秋をたかぬとてらるる月外 後醍醐院

壬生三上 ねと松の葉ははてしは 秋をたかぬとてらるる月外 後醍醐院
 山家集上 ささきと松の葉ははてしは 秋をたかぬとてらるる月外 後醍醐院
 拾遺自外上 ささきと松の葉ははてしは 秋をたかぬとてらるる月外 後醍醐院
 新後雜上 ね乃とよとてらるる月外 秋をたかぬとてらるる月外 後醍醐院
 金葉秋 ね乃とよとてらるる月外 秋をたかぬとてらるる月外 後醍醐院
 拾遺自外上 ささきと松の葉ははてしは 秋をたかぬとてらるる月外 後醍醐院
 同 ささきと松の葉ははてしは 秋をたかぬとてらるる月外 後醍醐院
 後拾遺上 ささきと松の葉ははてしは 秋をたかぬとてらるる月外 後醍醐院
 新後雜上 ささきと松の葉ははてしは 秋をたかぬとてらるる月外 後醍醐院
 拾遺自外上 ささきと松の葉ははてしは 秋をたかぬとてらるる月外 後醍醐院
 新葉秋下 月と松の葉ははてしは 秋をたかぬとてらるる月外 後醍醐院
 拾遺自外上 みるはははてしははてしは 秋をたかぬとてらるる月外 後醍醐院
 拾遺自外上 みるはははてしははてしは 秋をたかぬとてらるる月外 後醍醐院
 拾遺自外上 みるはははてしははてしは 秋をたかぬとてらるる月外 後醍醐院
 新後雜上 ささきと松の葉ははてしは 秋をたかぬとてらるる月外 後醍醐院
 後千冬 ささきと松の葉ははてしは 秋をたかぬとてらるる月外 後醍醐院
 月清集 みるはははてしははてしは 秋をたかぬとてらるる月外 後醍醐院
 新小意四 ささきと松の葉ははてしは 秋をたかぬとてらるる月外 後醍醐院
 新後雜上 ささきと松の葉ははてしは 秋をたかぬとてらるる月外 後醍醐院
 後拾遺上 ささきと松の葉ははてしは 秋をたかぬとてらるる月外 後醍醐院
 月清集 みるはははてしははてしは 秋をたかぬとてらるる月外 後醍醐院
 新後雜上 ささきと松の葉ははてしは 秋をたかぬとてらるる月外 後醍醐院
 後千冬 ささきと松の葉ははてしは 秋をたかぬとてらるる月外 後醍醐院
 拾遺自外上 ささきと松の葉ははてしは 秋をたかぬとてらるる月外 後醍醐院

拾玉集七

新葉秋下

拾玉集四

玉葉雜一

士生二五中

拾玉集七

後子秋上

新及拾雜秋

拾遺愚草

新千秋下

拾遺愚草

新葉賀

新古賀

新葉愚

新勅神紙

拾遺愚草

新拾賀

後及拾秋上

夏乃重秋何いくまの夕立

如きぬいせとれはせむと夜

芝の上よむれの人々の夕立

夕回さ次をたてたまき風花

夏も程あつめりくくくく人

月影はあつてまの山のとや

水巻山夕うけ暮れ下露や

とくやよ秋の夕をの白きく

ちふくえよやあつめの白あれ

秋の暮乃ち夕たよひまの月

つりもたかた山月をみく

傳ふはの灯かあつめや

月よみのあつたけりてまの

とつれいりくくくくく

あつたけりくくくくく

あつたけりくくくくく

あつたけりくくくくく

あきなるくくくくく

あきなるくくくくく

あきなるくくくくく

あきなるくくくくく

あきなるくくくくく

あきなるくくくくく

あきなるくくくくく

あきなるくくくくく

あきなるくくくくく

あきなるくくくくく

あきなるくくくくく

あきなるくくくくく

あきなるくくくくく

あきなるくくくくく

あきなるくくくくく

あきなるくくくくく

後人あつた

よみまのく

よみまのく

よみまのく

よみまのく

よみまのく

よみまのく

よみまのく

よみまのく

よみまのく

よみまのく

よみまのく

よみまのく

よみまのく

よみまのく

よみまのく

よみまのく

よみまのく

後及撰秋上

玉葉冬

拾遺愚草

後古秋下

新及拾秋下

拾遺愚草

拾遺真外

新及古賀

拾遺愚四

拾遺真外上

金葉秋

後撰秋下

拾遺真外

新古雜上

後撰秋上

新子秋上

拾遺真外

拾玉集七

い流しととつて風の芳あ

神々月影のひかりをのま

さく乃ち月乃光よしとて

三月月れまの朝のうらま

それとてあつたてとくさ

月やとつてみもまのの

むり乃ちまの福をたて

一尺のたけりてつて四上

年月れゆくらんくもあ

袖る手舞乃と衣をれく

なまゆきをころひくも

まうりてとつてみもま

昔の上よれ白乃ちま

あひあれとてあつた

打つてとつてあつた

とつてとつてあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あきなるくくくくく

あきなるくくくくく

あきなるくくくくく

あきなるくくくくく

あきなるくくくくく

あきなるくくくくく

あきなるくくくくく

あきなるくくくくく

あきなるくくくくく

あきなるくくくくく

あきなるくくくくく

あきなるくくくくく

あきなるくくくくく

あきなるくくくくく

あきなるくくくくく

あきなるくくくくく

あきなるくくくくく

大炊内右大臣

八道太政大臣

後及撰秋上

玉葉冬

拾遺愚草

後古秋下

新及拾秋下

拾遺愚草

拾遺真外

新及古賀

拾遺愚四

拾遺真外上

金葉秋

後撰秋下

拾遺真外

新古雜上

後撰秋上

新子秋上

拾遺愚草

後冬冬

新子雜上

新拾冬

壬生二系上

同

拾遺愚草

古今雜列

後撰雜

後千秋下

拾玉集七

新拾秋下

子我雜列

新拾冬四

風雅冬

拾遺自外

同下

風雅冬

うり移せ玉の乃若くも

垣のなるもの命もあはれ

九幸の世のうしみ長はく

唐つりつる葉をよめいとせ

心をもくも葉は枯れし

あきしる指を思ふもあか

あきしる指を思ふもあか

あきしる指を思ふもあか

あきしる指を思ふもあか

あきしる指を思ふもあか

あきしる指を思ふもあか

あきしる指を思ふもあか

あきしる指を思ふもあか

あきしる指を思ふもあか

あきしる指を思ふもあか

あきしる指を思ふもあか

あきしる指を思ふもあか

あきしる指を思ふもあか

あきしる指を思ふもあか

あきしる指を思ふもあか

あきしる指を思ふもあか

あきしる指を思ふもあか

あきしる指を思ふもあか

あきしる指を思ふもあか

あきしる指を思ふもあか

あきしる指を思ふもあか

あきしる指を思ふもあか

あきしる指を思ふもあか

あきしる指を思ふもあか

あきしる指を思ふもあか

あきしる指を思ふもあか

あきしる指を思ふもあか

あきしる指を思ふもあか

あきしる指を思ふもあか

あきしる指を思ふもあか

あきしる指を思ふもあか

後撰愚草

後冬冬

新子雜上

新拾冬

壬生二系上

同

拾遺愚草

古今雜列

後撰雜

後千秋下

拾玉集七

新拾秋下

子我雜列

新拾冬四

風雅冬

拾遺自外

同下

風雅冬

拾遺愚草

新拾秋下

後古秋下

玉葉秋下

拾遺冬

壬生二系中

長秋詠摩

新勅冬

拾玉集六

同七

後古尺

拾玉集七

新拾秋下

伴勢地

新勅羅

拾遺自外

新子秋下

後撰撰

秋乃形見は河を

秋のたつたは

秋のこころと成る

秋のこころと成る

秋のこころと成る

秋のこころと成る

秋のこころと成る

秋のこころと成る

秋のこころと成る

秋のこころと成る

秋のこころと成る

秋のこころと成る

秋のこころと成る

秋のこころと成る

秋のこころと成る

秋のこころと成る

秋のこころと成る

秋のこころと成る

秋のこころと成る

秋のこころと成る

秋のこころと成る

秋のこころと成る

秋のこころと成る

秋のこころと成る

秋のこころと成る

秋のこころと成る

秋のこころと成る

秋のこころと成る

秋のこころと成る

秋のこころと成る

秋のこころと成る

秋のこころと成る

秋のこころと成る

秋のこころと成る

秋のこころと成る

秋のこころと成る

大中臣實基

今上御製

傍心遍昭

茶中酒中巨唐

葉平好臣

後倉右大臣

後部成賢

紫式部

拾玉集四

ありし世に宿けりてはなほよもあきけりし月をこれ松風

玉葉秋下

をのそよよのきぬはあきけりしあきのよのそよよのきぬはあきけりし

同

あきけりし月をこれ松風

新子雅上

あきけりし月をこれ松風

拾遺愚草

あきけりし月をこれ松風

後撰悉又

あきけりし月をこれ松風

新拾秋下

あきけりし月をこれ松風

後撰撰林

あきけりし月をこれ松風

後拾悉四

あきけりし月をこれ松風

新勅賀

あきけりし月をこれ松風

後撰撰林

あきけりし月をこれ松風

同

あきけりし月をこれ松風

新拾悉

あきけりし月をこれ松風

拾玉集二

あきけりし月をこれ松風

長秋詠藻下

あきけりし月をこれ松風

後拾遺林

あきけりし月をこれ松風

拾玉集三

あきけりし月をこれ松風

後子野語

あきけりし月をこれ松風

古今在一 夕なればいづこも我神よ あきけりし月をこれ松風

新古哀傷 夕なればいづこも我神よ あきけりし月をこれ松風

月清集上 野うらやまのそよよのきぬはあきけりし月をこれ松風

玉葉秋上 宿を妻とよ森乃秋のそよよのきぬはあきけりし月をこれ松風

後千秋下 後うらやまのそよよのきぬはあきけりし月をこれ松風

子載秋下 遠なるそよよのきぬはあきけりし月をこれ松風

拾遺貞坐 何れそよよのきぬはあきけりし月をこれ松風

拾玉集三 中くそよよのきぬはあきけりし月をこれ松風

拾遺愚草 乙何あつて若ともそよよのきぬはあきけりし月をこれ松風

新千秋上 七夕はわきて又あふ後うらやまのそよよのきぬはあきけりし月をこれ松風

後撰秋上 銀河若くは波の立ぬつあきけりし月をこれ松風

新勅雅三 やまのそよよのきぬはあきけりし月をこれ松風

山家集上 かき入ねとそよよのきぬはあきけりし月をこれ松風

後撰拾秋上 曇るる代に代のそよよのきぬはあきけりし月をこれ松風

拾遺愚草 さとつそよよのきぬはあきけりし月をこれ松風

拾玉集二 いづこそよよのきぬはあきけりし月をこれ松風

風雅雅上 今もかき入ねとそよよのきぬはあきけりし月をこれ松風

拾玉集一 月乃そよよのきぬはあきけりし月をこれ松風

程中絶と雄

あきけりし月をこれ松風

あきけりし月をこれ松風

あきけりし月をこれ松風

あきけりし月をこれ松風

あきけりし月をこれ松風

あきけりし月をこれ松風

あきけりし月をこれ松風

あきけりし月をこれ松風

あきけりし月をこれ松風

あきけりし月をこれ松風

あきけりし月をこれ松風

あきけりし月をこれ松風

あきけりし月をこれ松風

あきけりし月をこれ松風

あきけりし月をこれ松風

あきけりし月をこれ松風

あきけりし月をこれ松風

あきけりし月をこれ松風

あきけりし月をこれ松風

あきけりし月をこれ松風

あきけりし月をこれ松風

あきけりし月をこれ松風

あきけりし月をこれ松風

あきけりし月をこれ松風

あきけりし月をこれ松風

あきけりし月をこれ松風

新子秋上

同

月清集上

新撰古雅

拾遺草

拾玉集七

後撰秋上

凡雅秋中

玉葉秋上

秋千秋上

拾玉集二

拾遺草

拾遺雜秋

子秋秋上

後撰秋上

新撰古秋上

あきれりもかきて 前大納言為家

あきれりもかきて 権中納言公雄

あきれの文を打つて 土井門院為家

あきれりもかきて 藤原文

あきれりもかきて 藤原文

あきれりもかきて 藤原文

あきれりもかきて 藤原文

あきれりもかきて 藤原文

あきれりもかきて 藤原文

あきれりもかきて 藤原文

あきれりもかきて 藤原文

あきれりもかきて 藤原文

あきれりもかきて 藤原文

あきれりもかきて 藤原文

あきれりもかきて 藤原文

あきれりもかきて 藤原文

あきれりもかきて 藤原文

あきれりもかきて 藤原文

あきれりもかきて 藤原文

あきれりもかきて 藤原文

あきれりもかきて 藤原文

あきれりもかきて 藤原文

あきれりもかきて 藤原文

あきれりもかきて 藤原文

あきれりもかきて 藤原文

あきれりもかきて 藤原文

あきれりもかきて 藤原文

あきれりもかきて 藤原文

あきれりもかきて 藤原文

あきれりもかきて 藤原文

あきれりもかきて 藤原文

あきれりもかきて 藤原文

あきれりもかきて 藤原文

あきれりもかきて 藤原文

あきれりもかきて 藤原文

あきれりもかきて 藤原文

あきれりもかきて 藤原文

あきれりもかきて 藤原文

あきれりもかきて 藤原文

あきれりもかきて 藤原文

あきれりもかきて 藤原文

あきれりもかきて 藤原文

あきれりもかきて 藤原文

あきれりもかきて 藤原文

玉葉秋上 志はれはるまきりけうのりも ありはるまきりけうのりも 母葉秋
 後拾遺 ちうちうまきり月日とまきり ありはるまきりけうのりも 小野少所
 後古上 夕すまきりけうのりも ありはるまきりけうのりも 後三位感安
 後拾遺 ちれちれまきりけうのりも ありはるまきりけうのりも 志慶法師
 壬生二下 一巻月くまきりけうのりも ありはるまきりけうのりも
 拾遺負外 ちのまきりけうのりも ありはるまきりけうのりも
 後拾遺 月もそまきりけうのりも ありはるまきりけうのりも
 新千秋下 久望まきりけうのりも ありはるまきりけうのりも
 後拾遺 ちれちれまきりけうのりも ありはるまきりけうのりも
 後拾遺 山まきりけうのりも ありはるまきりけうのりも
 古今秋下 白手まきりけうのりも ありはるまきりけうのりも
 詞秋 ありはるまきりけうのりも ありはるまきりけうのりも
 古今秋下 吹風のまきりけうのりも ありはるまきりけうのりも
 同 立田まきりけうのりも ありはるまきりけうのりも
 新勅書一 人まきりけうのりも ありはるまきりけうのりも
 後拾遺 けりまきりけうのりも ありはるまきりけうのりも
 新拾遺上 ありはるまきりけうのりも ありはるまきりけうのりも

後千上四 ありはるまきりけうのりも ありはるまきりけうのりも 太政大臣
 後古秋上 ありはるまきりけうのりも ありはるまきりけうのりも 延正法師
 玉葉雅一 ありはるまきりけうのりも ありはるまきりけうのりも 今松院
 子裁秋下 ありはるまきりけうのりも ありはるまきりけうのりも 右京季通
 後撰秋中 ありはるまきりけうのりも ありはるまきりけうのりも 山内
 拾玉集四 ありはるまきりけうのりも ありはるまきりけうのりも 入道
 新拾遺上 ありはるまきりけうのりも ありはるまきりけうのりも 後見院
 拾玉集一 ありはるまきりけうのりも ありはるまきりけうのりも 慶會
 新千雅上 ありはるまきりけうのりも ありはるまきりけうのりも 慶會
 拾玉集二 ありはるまきりけうのりも ありはるまきりけうのりも 慶會
 玉葉雅一 ありはるまきりけうのりも ありはるまきりけうのりも 慶會
 拾玉集四 ありはるまきりけうのりも ありはるまきりけうのりも 慶會
 同六 ありはるまきりけうのりも ありはるまきりけうのりも 慶會
 山家集 ありはるまきりけうのりも ありはるまきりけうのりも 慶會
 拾玉集六 ありはるまきりけうのりも ありはるまきりけうのりも 慶會
 同八 ありはるまきりけうのりも ありはるまきりけうのりも 慶會
 拾遺負外 ありはるまきりけうのりも ありはるまきりけうのりも 慶會

新拾雅上 世のうたみみぬ山後のあきまに ありたあられのこぼるる 恙空上人

新後古林下 旅衣をぬきとるりおほくは ありのあられをひらきと 如願法師

拾遺身外上 麻乃あき嵐乃をぬきとるて ありた衣ははらうきとる 花園左衛門

拾玉集二 織女乃ゆきとるあひひり ありた衣ははらうきとる

同一 ありとるあひひりありた衣ははらうきとる

同二 ありとるあひひりありた衣ははらうきとる

新後古林上 凡のきよと新と此秋のこきま ありのあられをぬきとる

拾玉集一 世へのきよと上の麻とぬきとる ありのあられをぬきとる

同 ありのあられをぬきとる

拾遺身外上 山つらのあられぬきとるあひひり ありのあられをぬきとる

凡雅秋上 おもろしう桐の一葉はあの中 ありのあられをぬきとる

新後古林上 くられの便よりうねるあひひり ありのあられをぬきとる

拾玉集二 くらりのあひひりありた衣ははらうきとる

同六 ありのあひひりありた衣ははらうきとる

拾遺身外上 ときりぬねはけりありた衣ははらうきとる

拾玉集二 くらりのあひひりありた衣ははらうきとる

同六 ありのあひひりありた衣ははらうきとる

拾遺身外上 くらりのあひひりありた衣ははらうきとる

新古秋上 おもろしう桐の一葉はあの中 ありのあられをぬきとる

恙空上人

如願法師

花園左衛門

花園左衛門

花園左衛門

花園左衛門

花園左衛門

昭慶口院一條

昭慶口院一條

昭慶口院一條

朱在院法製

勝觀法師

平經心願片

順徳院法製

順徳院法製

順徳院法製

伊勢

お中納言定資

お中納言定資

後古秋上

新後拾雅

壬生二系中

拾玉集一

同七

同四

同三

金葉秋

月清集上

拾遺志草

月清集上

玉葉秋下

新千秋上

新千番下

拾玉集上

月清集上

後衣二

あつとく思ふて抱乃るあまや

あまのゆりのうらみぬん

あまの夕やあまの夕

あまの夕やあまの夕

あまの夕やあまの夕

あまの夕やあまの夕

あまの夕やあまの夕

あまの夕やあまの夕

あまの夕やあまの夕

あまの夕やあまの夕

あまの夕やあまの夕

あまの夕やあまの夕

あまの夕やあまの夕

あまの夕やあまの夕

あまの夕やあまの夕

あまの夕やあまの夕

あまの夕やあまの夕

あまの夕やあまの夕

あまの夕やあまの夕

あまの夕やあまの夕

あまの夕やあまの夕

あまの夕やあまの夕

あまの夕やあまの夕

あまの夕やあまの夕

あまの夕やあまの夕

あまの夕やあまの夕

あまの夕やあまの夕

あまの夕やあまの夕

あまの夕やあまの夕

あまの夕やあまの夕

あまの夕やあまの夕

あまの夕やあまの夕

あまの夕やあまの夕

あまの夕やあまの夕

あまの夕やあまの夕

あまの夕やあまの夕

あまの夕やあまの夕

あまの夕やあまの夕

あまの夕やあまの夕

あまの夕やあまの夕

あまの夕やあまの夕

あまの夕やあまの夕

あまの夕やあまの夕

あまの夕やあまの夕

録倉右大臣

皇太后

大宰権帥

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院



類白

十三

後古秋上

新後拾雅

壬生二系中

拾玉集一

あまの夕やあまの夕

録倉右大臣

皇太后

大宰権帥

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

山家集下 月あはるる海田のあまらうと桂 ありあけつくとあまらうと桂
拾遺集上 月あはるる今夜涼しきありあけ ありあけつくとあまらうと桂
玉葉集 月あはるる今夜涼しきありあけ ありあけつくとあまらうと桂
拾遺集四 芳好山共吹風紙をよみて ありあけつくとあまらうと桂
胡蝶 ありあけつくとあまらうと桂
新子集上 ねほりよるるをよみてあまらうと桂 ありあけつくとあまらうと桂
山家集上 大井川井せきよとよみてあまらうと桂 ありあけつくとあまらうと桂
長秋縁澤 條門守格紙よみてあまらうと桂 ありあけつくとあまらうと桂
拾遺集三 ありあけつくとあまらうと桂
拾遺集五 ありあけつくとあまらうと桂
後撰集四 ありあけつくとあまらうと桂
拾遺集七 ありあけつくとあまらうと桂
月清集 ありあけつくとあまらうと桂
新勅秋上 ありあけつくとあまらうと桂
風雅秋中 ありあけつくとあまらうと桂
新勅秋上 ありあけつくとあまらうと桂
後撰拾遺 ありあけつくとあまらうと桂
玉葉集上 ありあけつくとあまらうと桂

言階成朝下

山田法師

和泉寺

大地言經信

風雅秋下 月あはるる海田のあまらうと桂 ありあけつくとあまらうと桂
後撰集傷 ありあけつくとあまらうと桂
山家集下 ありあけつくとあまらうと桂
玉葉集 ありあけつくとあまらうと桂
新古秋上 ありあけつくとあまらうと桂
拾遺集上 ありあけつくとあまらうと桂
玉葉秋下 ありあけつくとあまらうと桂
古今秋上 ありあけつくとあまらうと桂
後撰秋下 ありあけつくとあまらうと桂
拾遺集四 ありあけつくとあまらうと桂
新勅古冬 ありあけつくとあまらうと桂
拾遺集七 ありあけつくとあまらうと桂
新千冬 ありあけつくとあまらうと桂
玉葉冬 ありあけつくとあまらうと桂
拾遺集上 ありあけつくとあまらうと桂
壬生二系中 ありあけつくとあまらうと桂
後衣三 ありあけつくとあまらうと桂

西園寺前内大臣

法下定吉

お中納言頼貞

法性寺入道

お中納言頼貞

たぐね

依子内親

入道三系頼貞

お中納言頼貞

後撰撰林

時子すしのゆつたあぢと あぢ ぬちぢぢぢぢぢぢ 権大納言雲雄

同花秋

いろれいの中あつる月妙なれ あぢ ぬちぢぢぢぢぢぢ 右大臣

壬生二名中

あぢとそとそと秋あぢとそとあぢ あぢ ぬちぢぢぢぢぢぢ 権大納言雲雄

拾玉集一

あぢあぢあぢあぢあぢあぢ あぢ ぬちぢぢぢぢぢぢ 権大納言雲雄

玉葉秋上

あぢあぢあぢあぢあぢあぢ あぢ ぬちぢぢぢぢぢぢ 権大納言雲雄

同志三

あぢあぢあぢあぢあぢあぢ あぢ ぬちぢぢぢぢぢぢ 権大納言雲雄

同秋下

あぢあぢあぢあぢあぢあぢ あぢ ぬちぢぢぢぢぢぢ 権大納言雲雄

拾玉集三

あぢあぢあぢあぢあぢあぢ あぢ ぬちぢぢぢぢぢぢ 権大納言雲雄

同

あぢあぢあぢあぢあぢあぢ あぢ ぬちぢぢぢぢぢぢ 権大納言雲雄

後撰撰林

あぢあぢあぢあぢあぢあぢ あぢ ぬちぢぢぢぢぢぢ 権大納言雲雄

新勅撰四

あぢあぢあぢあぢあぢあぢ あぢ ぬちぢぢぢぢぢぢ 権大納言雲雄

新撰撰林

あぢあぢあぢあぢあぢあぢ あぢ ぬちぢぢぢぢぢぢ 権大納言雲雄

風雅秋下

あぢあぢあぢあぢあぢあぢ あぢ ぬちぢぢぢぢぢぢ 権大納言雲雄

新撰撰林

あぢあぢあぢあぢあぢあぢ あぢ ぬちぢぢぢぢぢぢ 権大納言雲雄

壬生二名中

あぢあぢあぢあぢあぢあぢ あぢ ぬちぢぢぢぢぢぢ 権大納言雲雄

千載秋下

あぢあぢあぢあぢあぢあぢ あぢ ぬちぢぢぢぢぢぢ 権大納言雲雄

長秋詠藻

あぢあぢあぢあぢあぢあぢ あぢ ぬちぢぢぢぢぢぢ 権大納言雲雄

風雅秋上

あぢあぢあぢあぢあぢあぢ あぢ ぬちぢぢぢぢぢぢ 権大納言雲雄

拾玉集六

あぢあぢあぢあぢあぢあぢ あぢ ぬちぢぢぢぢぢぢ 権大納言雲雄

新撰撰林

あぢあぢあぢあぢあぢあぢ あぢ ぬちぢぢぢぢぢぢ 権大納言雲雄

拾遺地名

あぢあぢあぢあぢあぢあぢ あぢ ぬちぢぢぢぢぢぢ 権大納言雲雄

山家集上

あぢあぢあぢあぢあぢあぢ あぢ ぬちぢぢぢぢぢぢ 権大納言雲雄

玉葉秋上

あぢあぢあぢあぢあぢあぢ あぢ ぬちぢぢぢぢぢぢ 権大納言雲雄

新撰撰林

あぢあぢあぢあぢあぢあぢ あぢ ぬちぢぢぢぢぢぢ 権大納言雲雄

同雜上

あぢあぢあぢあぢあぢあぢ あぢ ぬちぢぢぢぢぢぢ 権大納言雲雄

拾遺真坐

あぢあぢあぢあぢあぢあぢ あぢ ぬちぢぢぢぢぢぢ 権大納言雲雄

拾玉集五

あぢあぢあぢあぢあぢあぢ あぢ ぬちぢぢぢぢぢぢ 権大納言雲雄

同三

あぢあぢあぢあぢあぢあぢ あぢ ぬちぢぢぢぢぢぢ 権大納言雲雄

新勅撰林

あぢあぢあぢあぢあぢあぢ あぢ ぬちぢぢぢぢぢぢ 権大納言雲雄

後古名

あぢあぢあぢあぢあぢあぢ あぢ ぬちぢぢぢぢぢぢ 権大納言雲雄

拾玉集八

あぢあぢあぢあぢあぢあぢ あぢ ぬちぢぢぢぢぢぢ 権大納言雲雄

玉葉集二

あぢあぢあぢあぢあぢあぢ あぢ ぬちぢぢぢぢぢぢ 権大納言雲雄

古今秋下

あぢあぢあぢあぢあぢあぢ あぢ ぬちぢぢぢぢぢぢ 権大納言雲雄

新撰撰林

あぢあぢあぢあぢあぢあぢ あぢ ぬちぢぢぢぢぢぢ 権大納言雲雄

拾玉集四

あぢあぢあぢあぢあぢあぢ あぢ ぬちぢぢぢぢぢぢ 権大納言雲雄

拾遺玄三 ちのぬ衣のこをきそあゆみの あはれいしとあひかふま 春文左近
 新古今 風さくちのぬ衣のぬ衣のぬ衣の あはれいしとあひかふま 入道前太政大臣
 風雅雜中 谷法師木守方よりかきて あはれいしとあひかふま 山姥の影 中納言為相
 同外紙 ちとてくはじとてくはじとて あはれいしとあひかふま 山姥の影 度會延誠
 拾遺貞外下 文まはくこの下まよるくはじとて あはれいしとあひかふま 山姥の影
 拾遺愚草 月もつとほ乃とぬ衣のぬ衣の あはれいしとあひかふま 山姥の影
 玉葉集七 月もつとほ乃とぬ衣のぬ衣の あはれいしとあひかふま 山姥の影
 同六 ちとてくはじとてくはじとて あはれいしとあひかふま 山姥の影
 同又 ちとてくはじとてくはじとて あはれいしとあひかふま 山姥の影
 玉葉集上 ちとてくはじとてくはじとて あはれいしとあひかふま 山姥の影
 風雅雜下 ちとてくはじとてくはじとて あはれいしとあひかふま 山姥の影
 拾遺貞外 ちとてくはじとてくはじとて あはれいしとあひかふま 山姥の影
 風雅秋下 ちとてくはじとてくはじとて あはれいしとあひかふま 山姥の影
 新古今 ちとてくはじとてくはじとて あはれいしとあひかふま 山姥の影
 玉葉集二 ちとてくはじとてくはじとて あはれいしとあひかふま 山姥の影
 月清集下 ちとてくはじとてくはじとて あはれいしとあひかふま 山姥の影
 拾遺愚草 ちとてくはじとてくはじとて あはれいしとあひかふま 山姥の影

新古今 ちとてくはじとてくはじとて あはれいしとあひかふま 山姥の影
 風雅雜中 ちとてくはじとてくはじとて あはれいしとあひかふま 山姥の影
 同外紙 ちとてくはじとてくはじとて あはれいしとあひかふま 山姥の影
 拾遺貞外下 ちとてくはじとてくはじとて あはれいしとあひかふま 山姥の影
 拾遺愚草 ちとてくはじとてくはじとて あはれいしとあひかふま 山姥の影
 玉葉集七 ちとてくはじとてくはじとて あはれいしとあひかふま 山姥の影
 同六 ちとてくはじとてくはじとて あはれいしとあひかふま 山姥の影
 同又 ちとてくはじとてくはじとて あはれいしとあひかふま 山姥の影
 玉葉集上 ちとてくはじとてくはじとて あはれいしとあひかふま 山姥の影
 風雅雜下 ちとてくはじとてくはじとて あはれいしとあひかふま 山姥の影
 拾遺貞外 ちとてくはじとてくはじとて あはれいしとあひかふま 山姥の影
 風雅秋下 ちとてくはじとてくはじとて あはれいしとあひかふま 山姥の影
 新古今 ちとてくはじとてくはじとて あはれいしとあひかふま 山姥の影
 玉葉集二 ちとてくはじとてくはじとて あはれいしとあひかふま 山姥の影
 月清集下 ちとてくはじとてくはじとて あはれいしとあひかふま 山姥の影
 拾遺愚草 ちとてくはじとてくはじとて あはれいしとあひかふま 山姥の影

西行法師

新古今雅中

雅もみてあはれさうとていづれ
あふりしききむらぬあや

山家集下

あふりしききむらぬあや
あふりしききむらぬあや

風雅志四

あふりしききむらぬあや
あふりしききむらぬあや

同書中

あふりしききむらぬあや
あふりしききむらぬあや

壬生二系中

あふりしききむらぬあや
あふりしききむらぬあや

玉葉雅一

あふりしききむらぬあや
あふりしききむらぬあや

拾玉集一

あふりしききむらぬあや
あふりしききむらぬあや

大和物語

あふりしききむらぬあや
あふりしききむらぬあや

後撰志六

あふりしききむらぬあや
あふりしききむらぬあや

新撰古書傷

あふりしききむらぬあや
あふりしききむらぬあや

後撰志一

あふりしききむらぬあや
あふりしききむらぬあや

拾遺志二

あふりしききむらぬあや
あふりしききむらぬあや

古今志三

あふりしききむらぬあや
あふりしききむらぬあや

後撰志三

あふりしききむらぬあや
あふりしききむらぬあや

古今志二

あふりしききむらぬあや
あふりしききむらぬあや

拾遺志三

あふりしききむらぬあや
あふりしききむらぬあや

壬生二系上

あふりしききむらぬあや
あふりしききむらぬあや

後撰志二

あふりしききむらぬあや
あふりしききむらぬあや

玉葉尺教

あふりしききむらぬあや
あふりしききむらぬあや

新撰古書下

あふりしききむらぬあや
あふりしききむらぬあや

拾遺志草

あふりしききむらぬあや
あふりしききむらぬあや

新撰志一

あふりしききむらぬあや
あふりしききむらぬあや

新撰冬

あふりしききむらぬあや
あふりしききむらぬあや

月清集下

あふりしききむらぬあや
あふりしききむらぬあや

拾遺雅秋

あふりしききむらぬあや
あふりしききむらぬあや

長秋詠藻上

あふりしききむらぬあや
あふりしききむらぬあや

拾玉集七

あふりしききむらぬあや
あふりしききむらぬあや

新撰志二

あふりしききむらぬあや
あふりしききむらぬあや

新撰冬

あふりしききむらぬあや
あふりしききむらぬあや

拾玉集四

あふりしききむらぬあや
あふりしききむらぬあや

拾玉集二

あふりしききむらぬあや
あふりしききむらぬあや

後撰雅上

あふりしききむらぬあや
あふりしききむらぬあや

後撰雅中

あふりしききむらぬあや
あふりしききむらぬあや

新古今

新古今

山家集下

平長時

前大細言乃定

藤原信實

平長盛

如實法師

正三位

法成寺入道

龍大尼

法眼行洪

堀川右大臣

大泉寺

惟喬親王

法眼行洪

堀川右大臣

大泉寺

惟喬親王

法眼行洪

堀川右大臣

大泉寺

惟喬親王

法眼行洪

拾玉集六

とくく月のかげのさか

月清集上

難波のひらり月のかげ

玉葉冬

はゆい海みららじりかた

新後百華

雲井まてまきけるふか

玉葉雅三

表しに雲井をうけて

拾玉集七

和ま乃備は月影つる

新子冬

よ海まら玉とそまら

壬生二玉中

明わらう海は月影の

新子冬二

うきゆらうまらまら

新拾綴初

彼のう乃月はるの難波

後子秋下

まじ月の影うて入は

新後雅中

るわれとたふれとも

拾遺雜下

難波のうまらうまら

同物名

彼の酒のうまらうま

壬生二玉中

露かゆはれまらうま

拾遺志二

そらんかまらうまら

拾遺愚草

存りせうううまら

壬生二玉上

百羽く鴨のうまら

明石

りる海はまらうま

古今意二

任はの松かたらう

後後拾春上

吉野の山雪かたら

拾遺志

あすうらうらうま

後後拾冬

冬枯は跡まらうま

古今秋下

雪かたてかりまら

新後古集

みらるまらまらう

新後古上

うらつむらまらう

後拾遺上

かりにらりてまら

後千秋上

秋まらまらうま

金葉集

いけしきまらうま

拾玉集一

うつくもまらうま

新拾秋下

白ひも紛まらうま

古今意二

まらるまらうま

拾遺拙名

まらるまらうま

後後拾端

まらるまらうま

拾遺愚草

まらるまらうま

後撰

まらるまらうま

後後撰院

新河法師

幸盛丹入道

大正政大

後宇多院

侍従

前大納言

後中納言

後後撰院

まら

まら

まら

まら

まら

まら

まら

まら

まら

まら

まら

まら

まら

まら

まら

まら

まら

まら

まら

まら

まら

まら

壬生二下 づゝの光は候まひつゝこれ ありしは身をまはらむ
 新拾雅上 つらふしにむしきふあそふ ありしは身をまはらむ 池あり 大徳言を陸
 後撰集 善の池の鳥のあそぶ中もまは ありしは身をまはらむ 文道言凡
 拾遺愚草 まじの鳥をまはらむまはらむ ありしは身をまはらむ 浦を也
 新古雅上 夕まはらむまはらむあそふ ありしは身をまはらむ 平時親
 新拾秋下 秋風をまはらむの候まはらむ ありしは身をまはらむ 後香相流
 凡雅冬 凄つれたるまはらむあそふ ありしは身をまはらむ 如新法師
 新千冬 うらふまはらむまはらむあそふ ありしは身をまはらむ 後茶重徳
 後撰拾冬 雅はらむ水の流まはらむ ありしは身をまはらむ 平貞時下
 壬生二下中 備風のまはらむまはらむあそふ ありしは身をまはらむ
 拾遺貞坐 ろふつゝ入はらむ月まはらむ ありしは身をまはらむ
 新千巻上 雲枯のまはらむまはらむあそふ ありしは身をまはらむ 後香相流
 後撰遺草 花をまはらむあそふあそふあそふ ありしは身をまはらむ 後茶重徳
 新古巻上 夕月をまはらむまはらむあそふ ありしは身をまはらむ 後茶重徳
 拾遺愚草 其乃まはらむまはらむあそふ ありしは身をまはらむ 後茶重徳
 新後巻下 善酌の候まはらむあそふあそふ ありしは身をまはらむ 皇本在
 新勅撰 いろもまはらむまはらむあそふ ありしは身をまはらむ 後中
 後撰拾冬 夏つゝまはらむまはらむあそふ ありしは身をまはらむ 道徳女

拾遺貞坐 叶もあはらむまはらむあそふ ありしは身をまはらむ
 新古冬 津のまはらむあそふあそふあそふ ありしは身をまはらむ 西行法師
 後古冬 雅はらむまはらむあそふあそふ ありしは身をまはらむ 後香相流
 壬生二上 新日まはらむあそふあそふあそふ ありしは身をまはらむ
 新古雅中 ららまはらむまはらむあそふあそふ ありしは身をまはらむ
 拾玉集二 ろふつゝ水の西のまはらむあそふ ありしは身をまはらむ
 拾遺愚草 候まはらむまはらむあそふあそふ ありしは身をまはらむ
 後撰巻六 人もまはらむあそふあそふあそふ ありしは身をまはらむ
 後撰巻三 人もまはらむあそふあそふあそふ ありしは身をまはらむ
 後撰巻五 人もまはらむあそふあそふあそふ ありしは身をまはらむ
 後古巻四 人もまはらむあそふあそふあそふ ありしは身をまはらむ
 後拾遺愚草 人もまはらむあそふあそふあそふ ありしは身をまはらむ
 新古雅上 人もまはらむあそふあそふあそふ ありしは身をまはらむ
 新拾秋下 人もまはらむあそふあそふあそふ ありしは身をまはらむ
 金葉秋 人もまはらむあそふあそふあそふ ありしは身をまはらむ
 後千冬 人もまはらむあそふあそふあそふ ありしは身をまはらむ
 月清集上 人もまはらむあそふあそふあそふ ありしは身をまはらむ
 拾玉集六 人もまはらむあそふあそふあそふ ありしは身をまはらむ

金葉集

拾玉集一

新古今一

新古今一

新古今一

新古今一

新古今一

新古今一

新古今一

新古今一

新古今一

新古今一

新古今一

新古今一

新古今一

新古今一

新古今一

新古今一

新古今一

ささけは玉のまのゆき... 前内大臣

こころはまのつらさ... 後鳥羽院

人まはせぬ... 後鳥羽院

つねはなれ人の... 後鳥羽院

都はるる... 後鳥羽院

羨むる... 後鳥羽院

又月を... 後鳥羽院

我はは... 後鳥羽院

はの國... 後鳥羽院

煙る... 後鳥羽院

難波人... 後鳥羽院

難波... 後鳥羽院

を... 後鳥羽院

を... 後鳥羽院

本... 後鳥羽院

か... 後鳥羽院

さ... 後鳥羽院

か... 後鳥羽院

か... 後鳥羽院

か... 後鳥羽院

か... 後鳥羽院

か... 後鳥羽院

か... 後鳥羽院

か... 後鳥羽院

か... 後鳥羽院

か... 後鳥羽院

か... 後鳥羽院

か... 後鳥羽院

か... 後鳥羽院

か... 後鳥羽院

か... 後鳥羽院

か... 後鳥羽院

か... 後鳥羽院

か... 後鳥羽院

か... 後鳥羽院

か... 後鳥羽院

か... 後鳥羽院

か... 後鳥羽院

か... 後鳥羽院

か... 後鳥羽院

か... 後鳥羽院

か... 後鳥羽院

か... 後鳥羽院

か... 後鳥羽院

源朝野下

若原景景

後三行

後三行

後三行

後三行

後三行

後三行

後三行

後三行

後三行

後三行

後三行

後三行

後三行

後三行

後三行

後三行

後三行

後三行

後三行

後三行

後三行

後三行

後三行

後三行

後三行

後三行

後三行

後三行

後三行

後三行

後三行

後三行

後三行

後三行

後三行

後三行

後三行

後三行

後三行

後三行

後三行

後三行

後三行

玉葉冬三

拾遺秋

同卷一

玉葉秋

月清集上

玉葉冬

新古今

玉葉冬三

同卷

新古今冬

新葉又教

拾遺愚草

山吹集下

新古今下

新古今冬

月清集上

古今集上

うらうらとていふ人

昨日よりあつた

あひつとあつた

からかへりてあつた

雪のうらやま

白き雪のうらやま

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

章義門院

惠善法師

人まゝ

院法製

院法製

院法製

院法製

院法製

院法製

院法製

院法製

院法製

院法製

院法製

院法製

院法製

院法製

後古今冬

後拾冬

後古今下

玉葉雅

拾遺愚草

拾玉集六

新古今下

新葉其上

新古今冬

玉葉秋上

新古今下

拾遺哀傷

新古今下

須花雅下

まづ人の心は

まづ人の心は

まづ人の心は

まづ人の心は

まづ人の心は

まづ人の心は

まづ人の心は

まづ人の心は

まづ人の心は

まづ人の心は

まづ人の心は

まづ人の心は

まづ人の心は

まづ人の心は

まづ人の心は

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

從二位上

從三位上

從四位上

從五位上

從六位上

從七位上

從八位上

從九位上

從十位上

從十一位上

從十二位上

從十三位上

從十四位上

從十五位上

從十六位上



